

# 成田空港周辺の地域づくりに関する 「実施プラン」

## 別冊 施策事業編

令和2年3月

成田空港に関する四者協議会

(国土交通省(航空局)、千葉県、成田空港周辺9市町、成田国際空港株式会社)

◆実施プラン施策事業編について◆

実施プラン施策事業編では、本プラン第3章の各項目において、地域活性化策として実施する事業の概要を「別冊」として整理をしています。

この四者の各主体が実施する個別の施策事業については、定期的に更新することにより、取組を明確化することで着実な推進を図り、主体におけるPDCAサイクルによる事業の見直しなどを行うことでプランに反映させていきます。

# 目 次

1. 生活環境の向上	
(1) 地域から空港／航空関連ビジネスの人材輩出の促進	4
(2) 機能強化を見据えた住環境等の整備	7
① 「暮らし」の視点を踏まえたまちづくり	
② 機能強化を見据えた住宅等の整備	
(3) 9市町から成田空港へのアクセス利便性の向上	14
(4) 成田空港と地域の連携による地域防災力の向上	16
2. 産業振興	
(1) 今後の空港とまちづくりを支える産業振興等	17
① 空港を活用した地場産業・中小企業振興	
② 今後の空港とまちづくりを支える企業誘致	
(2) 空港を起点とする観光振興策の推進	22
(3) 空港と近接している地域特性を活用した	
農林水産業の振興	26
① 力強い産地づくりと販売力の強化	
② 農業用水と農地の整備	
3. インフラ整備	
(1) 空港と地域の発展を支える道路の整備	30
(2) 空港周辺の河川整備	34



# 1. 生活環境の向上

## (1) 地域から空港／航空関連ビジネスへの人材輩出の促進

○空港／航空関連企業への就業促進機会の展開・充実

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
1	成田国際空港国際線誘致対策WG	国土交通省	成田空港におけるグランドハンドリングを確実に提供する環境を整備するため、現場の課題解決への対応を実施する。	国、空港会社、エアライン、グランドハンドリング事業者等が連携し、採用強化や労働環境改善など人材確保等の課題解決に向けた対応を進める。
2	空港企業と高校生・大学生の雇用実態調査（就業環境改善推進事業）	山武市	航空業界への就業を図る。	若年層の定住促進を図るとともに、女性活躍に取り組む事業者増加を支援するために、各種調査等を行うもの。とりわけ、近接する城西国際大学と連携しつつ、雇用が拡大する成田空港立地企業が必要とする人材像や学生が希望する職の実態調査を中心に行う。
3	空港を支える人材確保支援事業	栄町	成田空港への就労促進。	空港の機能強化により、空港での従業員が増加することが見込まれる中、空港関連企業や新たに進出予定の企業の採用情報を集約し、募集案内や会社説明会、採用試験等の情報を町のホームページなどに掲載する。
4	成田空港関連企業合同説明会・面接会	国、千葉県、成田市、富里市、香取市、山武市、栄町、神崎町、多古町、芝山町、横芝光町、空港会社ほか	成田空港への就労促進。	平成30年度から成田空港への就労促進を目的に、ハローワークやN A A、近隣市町等と共同で空港関連企業合同説明会を実施。平成30年度及び令和元年度は横芝光町・千葉ハローワーク・成田ハローワーク・N A Aが中心となり実施。

○空港を有する国際地域としての特色にあわせた外国語教育・国際教育

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
5	グローバル人材育成事業	千葉県	急速に進展するグローバル化に対応するため、千葉県の子供たちに対し、国際的に活躍できる「グローバル人材」を目指す機会を提供する。	国際化に対応した学校教育推進の一部として、外国語指導助手（A L T）を活用し、外国語教育及び国際教育を充実させる。 高校生が海外に留学する場合の経費を一部助成することにより、留学を促進する。
6	外国語教育推進事業	千葉県	児童生徒が外国語を使って積極的にコミュニケーションを図り、自己の考えなどを主体的に発信する力を身に付けるため、小・中・高における外国語教育を体系的に捉えた計画のもと、授業の質の向上、児童生徒の英語力・学ぶ意欲の向上、教員の資質向上により、外国語教育の推進を図る。	児童生徒の発信力及び学ぶ意欲を高めるための授業の質の向上を図る。 英語教師を対象とした実践的な研修等を実施し、教師の英語力及び指導力の更なる向上を図る。
7	国際教育交流推進事業	千葉県	高校の教員及び生徒をマレーシア及び台湾に派遣し、現地での活動等を通じて、教育分野での国際交流を推進する。	・マレーシア及び台湾の桃園市に、それぞれ高校の教員及び生徒を派遣し、学校交流等を行う。  ※千葉県と台湾の桃園市とは2016年に友好交流協定を締結
8	英語科研究推進事業	成田市	児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成及び国際理解教育の推進を図る。	・全校を教育課程特例校として英語科の設置及び拡充。 ・A L Tを全校に配置。 ・主任A L Tを教育委員会に配置。 ・各種研修会等の開催。
9	日本語教育補助員配置事業	成田市	外国人児童生徒の日本語習得及び学校生活への適応支援のため、日本語教育補助員を各校に配置する。	・支援の必要な児童生徒が在籍する学校へ日本語教育補助員を配置（スペイン語、タガログ語、中国語、韓国語、シンハラ語、モンゴル語、タイ語）。 ・年度途中の転入や少数言語に対応するため、日本語教育有償ボランティアを派遣（ポルトガル語、ネパール語等）。
10	語学指導教育の推進	香取市	グローバル化が急速に進展する中で、生涯にわたり様々な場面で必要と考えられる外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。	グローバル化する社会に対応するため、外国語指導講師を配置し、小中学生の外国語教育の充実を図るとともに、日本語の理解が困難な外国等から編入した児童生徒の語学指導を行う。

11	英語教育推進事業	山武市	グローバル人材育成。	成田空港圏にある山武市において、国際化に対応した人材輩出の基礎として、市内小中学校を対象に国際理解教育の充実を図るもの。小学校においては、異文化理解授業を行い、中学校においては、英検集中講座、英検受験補助を行う。
12	国際化に対応した人間教育事業	栄町	空港周辺地域としての地域性を活かして、グローバル化に対応できる国際性豊かな教育を推進することで、機能強化により増加が見込まれる空港勤務者を空港周辺市町から輩出することに繋げ、空港周辺市町の発展に寄与する。	中学生の海外派遣や英検助成を行い、言語だけでなく、多様性を理解し、異文化を理解する人材を育成する。
13	外国人も住みやすいまちづくり推進事業	栄町	成田空港の更なる機能強化による、成田空港や空港関連企業に勤務する外国人従業員等の転入者の増加が見込まれることから、多言語ホームページの整備・外国人と地域住民との交流事業などを開催することで、言語だけでなく、多様性を理解し、異文化を理解できる人材育成を推進すると共に、外国人住民が不便なく生活できる環境を整備する。	外国人も暮らしやすいまちづくり推進協議会を立ち上げ、外国人向けのパンフレットの作成をはじめ、外国人と町民の交流事業、外国人の日本文化体験事業等を実施。
14	空き施設活用事業（廃校を利用した「国際協力日本語学院」）	多古町	小学校の統廃合や施設の再編により使用しなくなった施設を民間事業者等に貸し出すことにより、施設の有効活用及び地域活性化を図る。	小学校の統廃合により使用しなくなった施設を民間事業者等に貸し出すことにより、施設の有効活用及び地域活性化を図る。
15	英語教育推進事業	芝山町	小中学生の英語力を強化し、成田空港の隣接地域としての地域性を活かして国際性豊かな教育を推進する。 国際化社会に適応するために必要となる外国語への適応力や教育課程における英語教育の充実をはかる。	英語力の強化を図るため英語検定への補助を行う。
16	成田空港南側圏グローバル人材育成事業	山武市、芝山町、多古町、横芝光町	地域に住み続けながら働ける職業観を育む。	地方創生事業として、空港南側圏の4市町（山武市・芝山町・多古町・横芝光町）が連携して、成田空港への就業促進のため、空港関連企業で働く方の講話事業や職場見学を、小中学生向けに実施する。

○子供のころから空港に親しみ、職場としての意識を醸成するキャリア教育

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
17	航空関連人材の確保	国土交通省	航空関連人材の安定的な確保。	航空関係事業者、業界団体等の協力を得ながら各種イベント等の開催及びウェブサイト等を活用した人材確保のための取組み。
18	千葉県夢チャレンジ体験スクール	千葉県	成田空港、航空関連企業等と連携を図り、生徒が、様々な職種における職場見学や職場体験、大学講義の受講等の機会を得るとともに、研究者や職業人との交流を通して、職業に必要な資質や能力等について学び、将来の職業に対する夢を育む。	県内在学または在住の小、中、高校生等を対象に、科学や先端技術、キャリア教育に関する講座を夏休みに実施する。
19	職場体験学習事業（航空関連企業等）の実施	富里市	望ましい勤労観・職業観の育成及び、学ぶこと・働くことの意義を理解する。	・わくわくWorking！（中学生） ・ゆめ、仕事びったり体験（小学生） ・お仕事講座（JAL）
20	国際化推進事業（外国人支援窓口・外国人向け日本語教室）	富里市	未来を担う子どもたちが、グローバル社会で活躍できるよう、英語教育を推進する。市内在住の外国人に対する市民サービスの向上を図る。	市内小中学校へ英語講師やALT配置を推進する。 市役所庁舎にて外国人支援窓口設置。 国際交流協会に対する支援。 （国際交流協会による主な事業） ・中学生アメリカホームステイ体験ツアー ・ジャズフェスティバルinとみさと ・小学生英語教室や在住外国人向けの日本語教室

21	青少年海外派遣事業	山武市	グローバル人材育成	<p>1 市内在住の中学生（2年生以上）・高校生、計18名をニュージーランドへ派遣。 ・現地の自然や風土を体感するとともに、教育施設での生徒間の交流やホームステイを通じて異文化体験を行う。 ※別事業としてニュージーランドからの受入事業（10名程度）も併せて実施（隔年）</p> <p>2 市内在住・在学の中学生（2年生以上）・高校生、計10名をスリランカへ派遣。 ・現地の自然や風土を体感するとともに、教育施設での生徒間の交流をする中で異文化理解。JICAボランティアスタッフの活動、現地日本法人業務の視察するなかで、日本の国際貢献について学ぶ。 ※本事業とは別に、スリランカからの青少年招へい事業（引率者含め3名）を実施</p>
22	ちびっこ国際交流事業	山武市	幼少期から異文化に触れることにより、グローバル人材を育成する。	成田空港圏にある山武市において、国際化に対応した人材輩出の基礎として、こども園等に通う幼児を対象に、ネイティブスピーカーに触れる機会を作りながら、外国語、外国文化・歴史への興味関心を高める。また、外国語教育の質が高い地域の定評を作り、移住定住に繋げる。
23	国際化に対応した人間教育事業【再掲】	栄町	成田空港の更なる機能強化が進められる中で、空港内や周辺における新たな雇用が見込まれることから、空港周辺における国際感覚をもった人材を育成する。	中学生の海外派遣や英検助成を行い、国際感覚の醸成と英語力の向上を図る。
24	国際化推進コーディネーター派遣事業	多古町	こども園の活動及び小学校における教育課程の中で質の高い外国語教育活動を展開する。	グローバル化社会を逞しく生き抜くために必要となる外国語の習得やコミュニケーション能力を育成するため、教育課程において外国人ALTを活用し、外国語教育を推進する。
25	グローバルキャリア教育海外研修事業	多古町	多古町の将来を担う中学生が、海外での研修活動を通じてグローバル社会を逞しく生き抜く力を体得する。また、今まで学習した国際理解教育とキャリア教育の礎として、国際的視点に立ったグローバルキャリア教育を発展させることで、成田国際空港と共存共栄による持続可能な町づくりに資する。	グローバル化社会を逞しく生き抜くために必要となる外国語の習得やコミュニケーション能力を育成し、臆することなく国際感覚豊かに活躍できる人材を育てるために中学生海外修学旅行を検討し、それに係る費用を助成する。
26	成田空港南側圏グローバル人材育成事業【再掲】	山武市、芝山町、多古町、横芝光町	地域に住み続けながら働ける職業観を育む。	地方創生事業として、空港南側圏の4市町（山武市・芝山町・多古町・横芝光町）が連携して、成田空港への就業促進のため、空港関連企業で働く方の講話事業や職場見学を、小中学生向けに実施する。
27	ワンデイ・サマースクール事業	空港会社	全国の小学生を対象に、航空会社のお仕事や、成田空港を支えるお仕事とその舞台裏について楽しく学びながら、世界の都市や国内各地と繋がる成田空港のスケール感を直接感じていただく。	航空会社の仕事紹介、ターミナル探索等、成田空港を支えるお仕事とその舞台裏について体験学習を行う。

○空港／航空関連企業と教育機関等の対話の場づくり

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
28	成田空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関との連携事業	成田空港活用協議会	成田空港及び空港・航空関連産業における人材確保と地域での雇用機会の拡大。	成田空港の機能強化に伴う空港内従業者の増加が見込まれるため、人材確保に係る調査や需給マッチングの向上を促進する事業を実施する。

○その他、特に力を入れている取組

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
29	国家戦略特区推進事業	成田市	本市は、「国際医療学園都市構想」と「エアポート都市構想」を国に提案し、「国家戦略特別区域を定める政令」（平成26年5月公布、施行）によって東京圏の一部として国家戦略特区に指定されている。指定を受けた後は、区域計画に定められた規制緩和事項を円滑に推し進める必要があることから、本事業を立ち上げた。	国家戦略特区制度を活用し国際医療福祉大学医学部が開学したことに伴い、附属病院が畑ヶ田地先に開設される。（建設工事：延床面積105,678.81㎡、令和2年2月末竣工、令和2年春開院、41診療科、642床）

## (2) 機能強化を見据えた住環境等の整備

### ① 「暮らし」の視点を踏まえたまちづくり

#### ○移住・定住施策の推進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
30	移住・定住促進事業	千葉県	市町村等が行う移住・定住促進のための取組を支援するとともに、市町村や関連団体との連携を図りながら、地域の魅力や移住関連情報、地域に居住することで実現できるライフスタイル、二地域居住をはじめとする新たな暮らし方などについて、幅広く発信する。	多数市町村が合同で参加できる移住イベントを開催するとともに、県としての発信力を活かした効果的・効率的な情報発信を行う。
31	移住定住促進事業	山武市	市外からの移住者の増加を目指す。	移住定住セミナーにおいて、市外・県外在住の移住検討者に対し、山武市の居住地としての魅力をPRすることで、移住者の増加を目指す。
32	定住・移住奨励金交付事業	栄町	空港の機能強化により、増加が見込まれる空港関連従業員に対し、定住・移住施策をPRすることで、空港周辺市町から空港で勤める人材を輩出することを促進する。	成田空港の更なる機能強化による、成田空港や空港関連企業に勤務する従業員等の受入環境を整備するため、町内に戸建て住宅を取得した方に対する奨励金交付制度や子育て支援に関する制度について、NAAや空港関連企業にPRをしていく。
33	移住・定住支援事業	神崎町	神崎町への移住・定住の促進	神崎町に転入をし、住宅を新築又は購入した方に、移住・定住奨励金を交付する。
34	移住定住促進事業	多古町	多古町のもつ魅力を都市部等に向けて発信することにより、成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備に伴う流動人口の取り込み図り、多古町への移住・定住を促進する。	・多古町、成田空港と東京駅を結ぶ高速バスのラッピング広告や鉄道車両内に広告を掲出し、多古町への移住定住促進をPRしている。 ・移住定住促進PR動画やパンフレットを作成し、更なるPRを実施するとともに、移住促進モニターツアーを実施し、多古町の魅力をより多くの人に周知する。 ・移住コーディネーターを設置し、多古町の魅力をPRするとともに、移住相談窓口の充実を図る。
35	空港企業と高校生・大学生の雇用実態調査（就業環境改善推進事業）	山武市	航空業界への就業を図る。	若年層の定住促進を図るとともに、女性活躍に取り組む事業者増加を支援するために、各種調査等を行うもの。とりわけ、近接する城西国際大学と連携しつつ、雇用が拡大する成田空港立地企業が必要とする人材像や学生が希望する職の実態調査を中心に行う。
36	住環境の整備に係る官民連携	多古町	移住・定住の促進。	民間企業と地域活性化に関する協定を締結し、民間が持つノウハウを生かし、住宅施策に取り組む。
37	住宅取得奨励金交付事業	多古町	当町内に住宅を新築又は購入した者に対し住宅取得奨励金を交付することにより、秩序ある土地利用を基本に当町への定住を促進し、もって活気にあふれた地域社会を築くことを目的とする。	当町内に住宅を新築又は購入した者に対し、住宅取得奨励金を交付する。 (中古住宅を含む)
38	住宅取得奨励金交付事業	横芝光町	若者の定住促進と転出者の抑制。	町内での住宅取得に対して奨励金の交付を行う。
39	町民体育館の維持管理	多古町	スポーツの振興により、町民の健康増進を図るとともに、有事の際の防災拠点施設として活用する。	平成30年度に完成した多古町民体育館について、物資集積地（町役場）の補助的な機能や学校教育の早期再開のための長期避難施設、町民が生涯にわたり楽しめるスポーツの場、健全な心身を育む場として、有効活用を図る。
40	総合運動公園整備事業	多古町	スポーツの振興や町民の健康増進を図るとともに、人々の憩いの場・交流の場を提供する。	西古内地区にある野球グラウンドの拡張整備を行う。また野球場以外の施設についても順次整備し、総合運動公園としての機能を持たせることで、大会誘致などにより町内だけではなく町外の利用促進を図る。
41	指定ごみ袋無料配布事業	芝山町	芝山町指定ごみ袋無料引換券を配布することにより、各家庭での可燃ごみの適正な処理を促進するとともに、経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	事業実施年度の8月1日現在、町内に住所を有する者で現に当該住所に居住する者の属する世帯に対して、「可燃ごみ（大）3袋分（計60枚、2,400円相当分）」の無料引換券を配布する。



○子育て支援、地域医療の充実などによる安心・安全な生活環境の確保

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
42	医療環境整備事業	多古町	地域の中核的医療機関である国保多古中央病院の機能の維持及び推進。	住民が安心して暮らし続けられる地域づくりのための社会基盤整備の一環として、地域の中核的医療機関である国保多古中央病院の機能の維持及び推進を図るため、医療機器、医療システムの更新・新設及び施設設備の更新・改修を行う。
43	高校生等医療費助成制度	山武市	高校生の医療費を補助することにより保護者の負担を軽減する。	義務教育終了後18歳となる年度までの間就学している高校生等について、通院・入院・調剤にかかる医療費を市が負担する。
44	高校生医療費助成制度	神崎町	子ども医療に要する費用を負担する保護者に助成をすることにより、子供の保健対策の充実、保護者の経済的負担の軽減を図り、子供の保健向上及び子育て支援体制の充実に寄与することを目的とする。	高校生を対象として、医療費から自己負担額（200円、所得税非課税世帯は0円）を控除した額を助成する。
45	高校生等医療費助成制度	多古町	高校生の医療費を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。	義務教育終了後18歳となる年度までの間就学している高校生等について、通院・入院・調剤にかかる医療費を町が負担する。
46	子ども医療費助成制度	神崎町	子ども医療に要する費用を負担する保護者に助成をすることにより、子供の保健対策の充実、保護者の経済的負担の軽減を図り、子供の保健向上及び子育て支援体制の充実に寄与することを目的とする。	0歳～15歳の子供を対象として、医療費から自己負担額（200円、所得税非課税世帯は0円）を控除した額を助成する。
47	子ども医療費助成制度	多古町	小学生までの医療費を補助することにより、保護者の負担を軽減する。	受給申請のあった中学3年生までの子供について、通院・入院・調剤にかかる医療費を町が負担する。
48	子ども医療費助成制度	芝山町	子どもの医療に要する費用を負担する保護者に、当該費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図り、もって子どもの保健の向上及び子育て支援体制の充実に寄与することを目的とする。	中学校卒業前までの子どもにかかる医療費（通院・入院・調剤）の全部または一部を助成する。  助成対象は健康保険が適用される医療費の自己負担分。
49	病後保育事業	山武市	病気回復期の幼児の預かり保育を行うことにより保護者の負担軽減を図る。	こども園・幼稚園に通所中の子供について、病気回復期で集団保育が困難な時期の保育をなるとうこども園病後保育室で預かり保育を行う。
50	病児保育事業	富里市	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図ること。	子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の保育需要に対応するため、病院において病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童への緊急対応を行うことで、安心して就労しながら子育てできる。
51	病児保育事業（病児対応型）	多古町	病気の回復期に至らない乳児・幼児又は小学校に就学している児童の預かり保育を行う。	多古中央病院敷地内に病児保育施設を建設し、病気の回復期に至らない乳児・幼児又は小学校に就学している児童の預かり保育を実施。 運営については、多古中央病院に委託予定。
52	病児保育事業（体調不良児対応型）	多古町	保育中に微熱を出すなど体調不良となった場合に緊急的な対応等を行う。	多古こども園において、看護師2名体制で園児の発熱時の緊急的対応や保健的対応を実施。
53	出産・入学等祝金支給事業	多古町	第3子以降の児童の保護者に対して、出産祝金、入学祝金及び卒業祝金を支給する。	第3子以降の児童に対し、出産祝金30万円、小学校入学祝金20万円、中学校入学祝金20万円、中学校卒業祝金30万円を支給。
54	子育て支援費支給事業	神崎町	子育て支援費を支給することにより、児童を養育する者がゆとりをもって子育てができる環境を整備し、次世代を担う子の出産を奨励し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。	子育て支援費支給 出産時 第1子及び第2子 5万円 第3子以降 10万円 小学校入学時 第1子及び第2子 2万円 第3子以降 5万円
55	学校給食費助成制度	神崎町	保育所園児及び児童生徒の給食費を助成することにより、保護者の負担を軽減するとともに、少子化対策並びに子育て支援に資することを目的とする。	保育所園児の給食費相当額を助成 小学校、中学校の指導生徒の給食費を全額助成する。
56	学校給食費助成制度	多古町	町立学校に在籍する児童生徒の給食費を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。	町内在住の町立学校給食費相当額を助成、また特別支援学校在学者についても、給食費相当額を助成している。

57	学校給食費無償化事業	芝山町	町立小中学校に通学する児童生徒の保護者に対し、学校給食費補助金を交付することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実を資するとともに、少子化対策及び子育てを支援することを目的とする。	町に住所を有し、町内の学校及び県立特別支援学校（小・中学部）に通学する児童・生徒の保護者に給食費を補助する。ただし、学校給食費の一部または全部を国・地方公共団体から負担がある場合は、その額を差し引いた額を補助する。また、学校給食の全部の提供を事情により受けられない児童生徒（アレルギー体質など）については、出席日数に1食あたりの給食費を乗じた額を補助する。
58	学校給食費負担金助成事業	横芝光町	保護者の教育費負担の軽減。	令和元年度から町内に住所を有する小中学生の保護者を対象に、給食費の全額助成（給食費の無償化）を行う。
59	児童通学用車運行事業	成田市	成田空港建設に伴い、特定地区内に居住する児童の通学の安全を図るため。	特定地区（取香・東峰）から遠山小学校まで通学用タクシーで送迎する。
60	保育料無償化（0歳児～）	神崎町	子育て世帯の保護者の経済的負担を軽減し、少子化対策による子育て支援を目的とする。	令和元年10月から実施されている国の保育料無償化に先立って保育料の無償化を実施。町内に住所を有する保育所の入所者全員（0歳児～）について、保育料を無償とする。
61	事業所内保育所「保育ルームたんぼぼ」	空港会社	成田空港内に勤務する従業員の仕事と家庭の両立を推進し、安心して子育てをしながら働ける環境を提供する。	名称：N A A 保育ルーム「たんぼぼ」 設置場所：第2駐車場ビル南棟1階 利用対象：生後6か月～未就学児 定員：105名（0歳児：15名、1～5歳児：各18名） 開園時間：8:00～20:00（延長保育7:00～8:00、20:00～22:00）
62	騒音地域ケーブルテレビ普及促進補助事業	成田市	成田市全域での普及を目指しているケーブルテレビの加入時に、騒音地域住民へ補助を行うことにより、市内情報格差是正につなげる。	成田国際空港周辺の騒音地域の住民を対象に、ケーブルテレビ加入時の引込工事費の一部を補助する。

○外国人住民向けコミュニケーション支援の実施

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
63	外国人総合相談事業	千葉県	県内在住の外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、多言語による相談が可能な相談窓口を運営する。	多言語により生活全般の相談に応じるほか、弁護士や行政書士による外国人向け専門相談を実施する。
64	外国人に係る総合相談窓口運営事業	成田市	「出入国管理法」の一部が改正され、さらなる増加が見込まれる外国人住民及び就労者等を支援するため、日常生活上の相談や情報伝達について支援する。	多言語に対応した外国人総合相談窓口を開設し、相談に応じるとともに情報伝達についても支援する。
65	公民館主催事業「外国人のための日本語教室」	成田市	外国人の方に簡単な会話や読み書き程度の日本語及び日本の文化・習慣を学んでもらい、相互理解を深めるため日本語教室を開催する。	毎週火・水・金・土の2時間、日本語ボランティアスタッフ（公民館講座「日本語ボランティア養成講座」でノウハウを習得した市民有志）に教室運営とカリキュラムをお任せする形で実施している。
66	日本語教育補助員配置事業	成田市	外国人児童生徒の日本語習得及び学校生活への適応支援のため、日本語教育補助員を各校に配置する。	・支援の必要な児童生徒が在籍する学校へ日本語教育補助員を配置（スペイン語、タガログ語、中国語、韓国語、シンハラ語、モンゴル語、タイ語）。 ・年度途中の転入や少数言語に対応するため、日本語教育有償ボランティアを派遣（ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語等）。
67	国際化推進事業（外国人支援窓口・外国人向け日本語教室）	富里市	未来を担う子どもたちが、グローバル社会で活躍できるよう、英語教育を推進する。市内在住の外国人に対する市民サービスの向上を図る。	市内小中学校へ英語講師やALT配置を推進する。 市役所庁舎にて外国人支援窓口設置。 国際交流協会に対する支援。 （国際交流協会による主な事業） ・中学生アメリカホームステイ体験ツアー ・ジャズフェスティバルinとみさと ・小学生英語教室や在住外国人向けの日本語教室

## ② 機能強化を見据えた住宅等の整備

○住民の将来設計に配慮した空港敷地や騒特法に係る移転代替地の確保

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
68	都市計画の見直し調査事業	成田市	千葉県が定める航空機騒音障害防止地区等の見直しに併せて、区域マスタープラン等の見直しを行うとともに、騒音防止地区等と重複する用途地域や地区計画を変更し、適切な土地利用を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域マスタープランの見直し</li> <li>・用途地域、地区計画等の都市計画の変更</li> <li>・都市計画区域の統合（下総・大栄）</li> </ul>
69	都市計画マスタープラン改訂事業	多古町	圏央道整備や成田空港の更なる機能強化といった社会情勢の変化に対応するため、都市計画マスタープランの見直しを実施する。	<p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の課題の整理</li> <li>・現行計画の評価</li> <li>・必要情報の収集、分析、資料作成</li> <li>・全体見直し方針概略検討</li> <li>・町民意見の収集</li> <li>・作業部会、検討委員会の開催</li> <li>・中間報告 など</li> </ul> <p>令和2年度予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別構想検討</li> <li>・町民との懇談会</li> <li>・作業部会、検討委員会、都市計画審議会の開催</li> <li>・素案作成及びパブリックコメント実施</li> <li>・編集及び印刷製本</li> </ul> <p>同時期に策定を進める多古町総合計画に即した計画とする。</p>
70	市街地整備事業（小池地区）	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、小池地区に住宅系拠点を整備。	<p>①R1～2) 住宅系拠点創出可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成</li> <li>・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討</li> <li>・概算事業費算出、資金計画検討</li> <li>・関係機関等協議</li> </ul> <p>②R1～2) 交通結節拠点基本計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通結節拠点の必要性検討</li> <li>・サービス目標と整備方針の検討</li> <li>・交通結節拠点施設(ハート)の検討 (乗降場数、ベンチやシェルなど乗降施設、歩行者通路、道路出入口、施設内車路等⇒概算工事費)</li> <li>・利便性向上関連施策(ソフト)の検討 (ダイヤの工夫や乗継料金等の乗継ぎしやすい環境の検討、交通事業者等意向踏まえ、新規路線バス、福祉交通、タクシー等の乗入れ等、交通ネットワーク拡充の検討)</li> <li>・整備・運営事業主体の検討</li> <li>・交通事業者等との協議</li> </ul>
71	市街地整備事業（川津場地区）	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、川津場地区に住宅系拠点を整備。	<p>①R1～2) 道路等検討業務委託</p> <p>NAAが行う空港拡張に伴う移転代替地等の住宅地創出に向け、関連する道路と雨水排水施設の概略設計を行う。</p> <p>②R2予定) 住宅系拠点創出可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成</li> <li>・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討</li> <li>・概算事業費算出、資金計画検討</li> <li>・関係機関等協議</li> </ul>
72	市街地整備事業（千代田地区）	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、千代田地区に住宅系拠点を整備。	<p>R2予定) 住宅系拠点創出可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成</li> <li>・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討</li> <li>・概算事業費算出、資金計画検討</li> <li>・関係機関等協議</li> </ul>

○空港勤務者等の増加に対応する住宅整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
73	吉倉地区周辺まちづくり事業	成田市	成田空港の更なる機能強化や国際医療福祉大学成田病院（大学病院）を核とした医療関連産業の集積等に伴う、新たな開発需要や人口増加に適切に対応していくための都市機能や住環境の整備を図る。	都市計画マスタープランに掲げた吉倉地先の鉄道構想駅を設置し、構想駅から畑ヶ田地区に開院する大学病院までの周辺区域において、市街化編入したうえで、土地区画整理事業などにより、公共施設（道路、公園等）の整備・改善及び住環境（宅地）の整備を進める。また、併せて医療関連産業の集積を図る。
74	都市計画の見直し調査事業【再掲】	成田市	千葉県が定める航空機騒音障害防止地区等の見直しに併せて、区域マスタープラン等の見直しを行うとともに、騒音防止地区等と重複する用途地域や地区計画を変更し、適切な土地利用を推進する。	・区域マスタープランの見直し ・用途地域、地区計画等の都市計画の変更 ・都市計画区域の統合（下総・大栄）
75	（仮称）不動ヶ岡土地区画整理事業	成田市	成田空港の更なる機能強化に伴う空港及び関連産業の従業員等の増加に対し、安心して快適に生活できる住環境の整備を図る。	組合施行による土地区画整理事業により、公共施設の整備・改善を図るとともに、住環境（宅地）の整備を促進する。
76	都市計画用途地域の見直し	富里市	平成30年度に見直した「都市計画マスタープラン」に関連するガイドライン等も見直しすることで、より適正な土地利用を推進する。	・都市計画マスタープランの見直し（2018年完了） ・都市計画の用途見直し ・市街化調整区域における地区計画ガイドラインの見直し
77	立地適正化計画作成事業	栄町	空港の機能強化をチャンスと捉え、交通ネットワークを踏まえた立地適正化計画を策定して居住機能及び都市施設機能を誘導することで、空港勤務者を呼び込むことで、空港周辺市町の人口増加を図る。	安食駅周辺を中心とした、コンパクトなまちづくりを推進し、商業施設等生活サービス機能の誘導による集約都市の形成を図り、生活利便性の向上を図り、空港の機能強化により増加が見込まれる転入者に魅力あるまちづくりを行う。
78	安食駅南側の住宅地開発促進事業	栄町	開発業者を誘導し安食駅南側地区の住宅地開発を新たに進め、成田空港の機能強化により増加する空港関連企業等の従業員の受け皿となる住宅地開発を行い、定住・移住人口の増加促進を図る。	成田空港の更なる機能強化による空港関連企業の従業員等の受入環境を整備するため、利便性は高いが住宅開発が進んでいない安食駅南側の市街化区域及び市街化調整区域へ道路整備を基軸として、町が積極的に関与して、住宅開発を誘導する。
79	空港勤務者等の共同住宅誘致促進事業	栄町	成田空港の機能強化により増加する空港関連企業等の従業員の受け皿ともなるアパートや寮などの町への誘致を進め、定住・移住人口の増加促進を図る。	成田空港の更なる機能強化による空港関連企業の従業員等の受入環境を推進するため、企業のアパートや寮の需要を把握し、町が先頭立って積極的に関与し、土地利用者との調整などを行い、誘致を図る。
80	都市計画マスタープラン改訂事業【再掲】	多古町	圏央道整備や成田空港の更なる機能強化といった社会情勢の変化に対応するため、都市計画マスタープランの見直しを実施する。	令和元年度 ・現状の課題の整理 ・現行計画の評価 ・必要情報の収集、分析、資料作成 ・全体見直し方針概略検討 ・町民意見の収集 ・作業部会、検討委員会の開催 ・中間報告 など  令和2年度予定 ・地域別構想検討 ・町民との懇談会 ・作業部会、検討委員会、都市計画審議会の開催 ・素案作成及びパブリックコメント実施 ・編集及び印刷製本 同時期に策定を進める多古町総合計画に即した計画とする。
81	圏央道 I C 周辺土地利用推進事業	多古町	政策 I C 並びに空港東側からのアクセス整備に伴い、有効活用が期待できる空港東側の土地において、住宅用地（含む移転者用）、商業用地、工業用地等の複合用途の区域を設定し、事業者誘致を図る。	政策 I C 並びに空港東側からのアクセス整備に伴い、有効活用が期待できる空港東側の土地において、住宅用地（含む移転者用）、商業用地、工業用地等の複合用途の区域を設定し、事業者誘致を図る。

82	市街地整備事業（小池地区） 【再掲】	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、小池地区に住宅系拠点を整備。	①R1～2) 住宅系拠点創出可能性調査 ・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成 ・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討 ・概算事業費算出、資金計画検討 ・関係機関等協議  ②R1～2) 交通結節拠点基本計画検討 ・交通結節拠点の必要性検討 ・サービス目標と整備方針の検討 ・交通結節拠点施設(ハート)の検討 (乗降場数、ベンチやシェルターなど乗降施設、歩行者通路、道路出入口、施設内車路等⇒概算工事費) ・利便性向上関連施策(リフト)の検討 (ダイヤの工夫や乗継料金等の乗継ぎしやすい環境の検討、交通事業者等意向踏まえ、新規路線バス、福祉交通、タクシー等の乗入れ等、交通ネットワーク拡充の検討) ・整備・運営事業主体の検討 ・交通事業者等との協議
83	市街地整備事業（川津場地区） 【再掲】	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、川津場地区に住宅系拠点を整備。	①R1～2) 道路等検討業務委託 NAAが行う空港拡張に伴う移転代替地等の住宅地創出に向け、関連する道路と雨水排水施設の概略設計を行う。 ②R2(予定) 住宅系拠点創出可能性調査 ・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成 ・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討 ・概算事業費算出、資金計画検討 ・関係機関等協議
84	市街地整備事業（千代田地区） 【再掲】	芝山町	空港機能強化による移転者や増加が見込まれる空港従業者の居住地の受け皿として、千代田地区に住宅系拠点を整備。	R2(予定) 住宅系拠点創出可能性調査 ・土地利用・公共施設等整備の方針検討、土地利用計画図作成 ・事業費概算、事業手法、事業主体の検討・比較評価、事業工程検討 ・概算事業費算出、資金計画検討 ・関係機関等協議

○住宅団地再整備や空家情報の提供やマッチングなど既存住宅の活用

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
85	千葉県すまいづくり協議会空家等対策検討部会	千葉県	市町村が行う空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした協議等を行うための場として、千葉県すまいづくり協議会設置要綱第7条の規定により設置するもの。	空家等状況及び空家等対策に関する情報を収集し、空家等対策の実施などについて検討を行う。参加団体は県内全54市町村のほか、オブザーバーとして関係する10団体にも参加いただいている。
86	成田市空き家バンク事業	成田市	市内の空き家に関する物件情報を収集し、発信することにより、居住支援の充実及び空き家の利活用を図る。	成田市内の空き家の有効活用を目的に、空き家の賃貸や売買を希望する所有者の方の物件を市に登録し、市はホームページにその情報を公開する。その情報を見た利用希望者と所有者との橋渡しを市が行う。
87	空き家活用事業	富里市	富里市空き家活用制度を運用し、空き家の利活用を推進する。	富里市空き家活用制度の運用。
88	定住促進事業	香取市	定住人口の維持とともに、空港に隣接しているという本市の地の利を生かし、成田空港勤務者をはじめとした市外の方の移住を促進し、人口減少に歯止めをかける。	空き家を売りたい・貸したいと考えている空き家所有者と、買いたい・借りたいと考えている空き家利用希望者との橋渡しを、市と宅建協会とで協力して行っている。空き家所有者から申込みのあった物件について、登録可能な物件であるかを調査し、登録可となった物件は窓口及び香取市空き家バンクウェブサイト・全国版空き家バンクサイトにて情報を公開し、利用希望者を募る。

89	山武市空き家バンク事業	山武市	市内に所在する空き家を有効活用し、地域の活性化を図る。	「山武市空き家バンク」を通じて、空き家を「売りたい・貸したい」人と、「買いたい・借りたい」人のマッチングをおこなう。 宅建協会・不動産協会と協定を結び、売買・賃貸契約を媒介することにより、双方に安心感を与え契約の締結が容易になる。
90	栄町空き家バンク事業	栄町	空き家を有効に活用し、空港関連企業等の従業員の受け皿となることで、人口増加、従業員を地元から輩出することを図る。	成田空港の機能強化による、人材確保に向けて、成田空港や空港関連企業等の従業員に対し、空き家バンクに登録してある物件が購入しやすい価格であること等のPRを行う。
91	神崎町空き家バンク事業	神崎町	町内の空き家の有効活用を通して、移住・定住の促進による地域の活性化を図る。	空き家を貸したい・売りたい所有者の方の物件を町に登録し、町はホームページ等にその情報を公開する。その情報を見て、借りたい・買いたいという移住希望者と所有者との橋渡しを町・宅建協会が協力して行う。
92	空き家バンク事業	多古町	移住・定住の促進。	・令和元年度に開設した「多古町空き家バンク」への掲載物件や利用登録者を増加させるべく周知広報を図り、移住・定住を促進させる。
93	空家等対策事業	芝山町	空家法に基づく「芝山町空家等対策計画（2019年4月）」を策定し、①空家の発生抑制・②予防、活用・市場流通の促進、③管理不全の解消を図り、快適で安全・安心なまちづくりを推進する。 また、計画に位置付けた各種施策を展開することにより、空き家を活用した民泊・農泊事業や空港就業者の移住・定住の受け皿など、空き家対策から地域振興施策への波及もねらう。	R2年度以降は、芝山町空家等対策計画計画に基づく施策を実施していく。 1) 木造住宅耐震診断補助(既設) 2) 木造住宅耐震改修補助(既設) 3) 住リリフォーム補助制度創設(2019.4.1) 4) 危険CB塀改修補助制度創設(2019.4.1) 5) 空き家・空き地バンク創設(2019.2.26) 6) 特定空家等対策 ・芝山町空家等対策の推進に関する条例及び規則(2019年12月策定)

○社会基盤施設の維持・向上

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
94	浄化センター整備事業	成田市	水質保全及び生活環境の向上を図ると共に、循環型社会に対応し環境に配慮した資源再生が可能な施設の構築を図る。	し尿及び浄化槽汚泥の処理体制を安定的に確保していくため、老朽化した成田浄化センターの再整備に向けた取組を進める。
95	公共下水道全体計画等策定事業	芝山町	千代田地区は成田空港第3滑走路の建設による住民の町内移転先や空港勤務者等の居住地として検討している。移転者等の汚水を公共下水道にて処理するために千代田処理区の小池処理区編入を前提とし、令和2年度に全体計画の見直しを図る。	千代田処理区を小池処理区に編入することを前提に、空港南部工業団地を公共下水道区域とした場合の既設管渠への影響や芝山クリーンセンター（汚水処理場）及び流総計画（東京湾流総→九南流総）への影響等について検討し、全体計画の見直しを行う。
96	上水道基本計画策定事業	芝山町	上水道事業を実施するため基本計画を策定する。	機能強化を契機ととらえ、水道事業に着手する。 R元年度に策定した上水道基本構想に基づき、R2年度に上水道基本計画を策定する。

### (3) 9市町から成田空港へのアクセス利便性の向上

#### ○空港と周辺地域を結ぶバス路線の運行によるアクセス手段の拡充

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
97	さんむウイングライナー実証実験	山武市	成田空港への通勤利便性の確保する。	松尾・蓮沼方面を経由する空港シャトルバスに加え、成東・山武地区から成田空港方面へのさんむ成田線（さんむウイングライナー）の実証実験運行を行い、通勤利便性の向上を図る。
98	安食駅-印旛日本医大駅への路線バス実証実験運行事業	栄町	成田空港の更なる機能強化により成田空港への通勤や成田空港利用者の増加が見込まれ、安食駅から成田空港に直結している印旛日本医大駅へのバス路線の実証実験運行を行い、通勤者の利便性の向上を図る。	成田空港の更なる機能強化により成田空港への通勤や成田空港利用者の増加が見込まれることから、主要地方道鎌ヶ谷・本笠線B.Pの開通に合わせ、印旛日本医大駅へのバス路線実証実験運行を開始し、空港への利便性の向上を図る。
99	成田方面へのバス運行事業	横芝光町	町中心部であるJR横芝駅から成田へのアクセス向上。	JR横芝駅を起点とする成田方面へのバスについて日曜と祝日のみの運行であったが、成田空港の機能強化に向けて通勤や通学等で利用できるよう無休のバスの運行を、令和元年12月から開始。 毎日20便。横芝光町役場～JR横芝駅～ふれあい坂田池公園～横芝工業団地～航空科学博物館入口～整備地区～成田空港第2旅客ターミナル～（京成成田駅/イオンモール成田）
100	空港シャトルバス運行事業	多古町	シャトルバスを運行し、都市部への交通の拠点である空港とのアクセスを充実させ、通勤・通学圏の拡大を図ることで、進学や就職のタイミングで若い世代等が多古町から流出してしまうことを抑制する。	都市部方面への通勤・通学の足を確保するため、道の駅多古と空港第2ビルを結ぶシャトルバスを運行する。平成28年度9月からは9往復を増便し、平成29年度10月からは、既存企業への支援という側面から工業団地内へ一部の便の乗り入れを行っている。
101	空港シャトルバス運行事業	芝山鉄道延伸連絡協議会	成田空港南部地域の公共交通網の整備、利便性向上を目的とし成田空港と空港南部地域を結ぶバスを運行する。	山武市、横芝光町、芝山町の共同で空港シャトルバスを運行する。（20便/日）
102	従業員向け深夜急行バス実証実験	空港会社	2019年冬ダイヤからの夜間飛行制限の変更に合わせて、深夜時間帯の空港従業員の帰宅手段を確保するため、鉄道の補完として従業員用深夜急行バスの実証実験運行等を開始。	・空港内（第3PTB、第2PTB、第1PTB、貨物地区）において空港従業員を乗車させ、酒々井駅、佐倉駅等の主要駅を経由して勝田台駅（最終）まで運行 ・JR成田駅西口～ニュータウン方面の深夜路線バスを新設するとともに最終便もデイリー化

#### ○バスターミナルの整備による効率的なバス運行の推進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
103	高速バスを基幹としたバスターミナル整備事業	香取市	・都市間交通の手段として、高速バスを活用し、既存路線のサービスレベルの強化、新規路線の整備を進めるための拠点を整備する。 ・拠点区域と市外との交通アクセス向上により、市内に居住しながら東京圏等への通勤通学を可能とし、若年層の定住選択が可能となる地域環境を実現する。 ・首都圏と成田空港への交通アクセス向上により、国内外からの観光客来訪による交流人口拡大を目指す。	通勤や通学時を中心とする交通不便を解消して市内定住を高めるため、佐原駅北口及び小見川駅周辺にバスターミナルの整備を検討し、都市間公共交通の利便性向上を図る。
104	バスターミナル整備事業	芝山町	交通結節拠点としてバスターミナルを整備し、交通ネットワークの向上を図る。	交通環境の現状と課題の整理、交通結節拠点の必要性の検討、整備目標と整備方針の検討、交通事業者との協議などを行い基本計画を策定する。

#### ○地域公共交通網形成計画の策定

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
105	地域公共交通網形成計画策定事業	成田市	持続可能な公共交通網の形成を図るためのマスタープランとなる「地域公共交通網形成計画」を策定する。	庁内検討組織で計画の内容を検討するとともに、法定協議会である「成田市地域公共交通網形成協議会」において合意形成を図りながら、令和元年度から2カ年をかけて計画を策定する。

106	地域公共交通網形成計画（令和元年度策定）	香取市	公共交通に関する課題・問題点に対し、市全域を見渡し、抜本的な見直しを進めていくため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、公共交通のマスタープランとなる、「地域公共交通網形成計画」を策定。	令和元年度に策定した計画に基づき、通番103「高速バスを基幹としたバスターミナル整備事業」等の各種事業を実施していく。
107	地域公共交通網形成計画（平成30年度策定）	山武市	持続可能な公共交通網の形成を目的として、「山武市地域公共交通網形成計画」を策定。	平成30年度に策定した計画に基づき、通番97「さんむウイングライナー実証実験」等の各種事業を実施していく。

○広域幹線バス路線維持に係る補助

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
108	千葉県バス運行対策費補助	千葉県	地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が輸送需要の減少により困難となっている現状にかんがみ、生活交通の確保方策の一環として、生活交通路線として必要なバス路線のうち広域的・幹線的な系統の確保・維持を図る。	複数市町村にまたがる広域的な幹線バスのうち、輸送量や収支率等の輸送需要や生産性等に関する一定の要件を満たす路線について、予測される赤字額に対して助成を行う。

○その他、特に力を入れている取組

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
109	吉倉地区周辺まちづくり事業	成田市	成田空港の更なる機能強化や国際医療福祉大学成田病院（大学病院）を核とした医療関連産業の集積等に伴う、新たな開発需要や人口増加に適切に対応していくための都市機能や住環境の整備を図る。	都市計画マスタープランに掲げた吉倉地先の鉄道構想駅を設置し、構想駅から畑ヶ田地区に開院する大学病院までの周辺区域において、市街化編入したうえで、土地区画整理事業などにより、公共施設（道路、公園等）の整備・改善及び住環境（宅地）の整備を進める。また、併せて医療関連産業の集積を図る。
110	さとバス・デマンド交通運行事業	富里市	市内の公共交通空白地帯を補完する。	さとバス及びデマンド交通を運行する。
111	成田ナンバー普及促進協議会	成田市	協議会は、成田ナンバー版図柄入りナンバープレートの普及促進を図り、成田ナンバー対象地域（成田市、富里市、山武市、神崎町、多古町、芝山町、横芝光町）の魅力を内外に発信するとともに、交通サービスの改善及び観光振興に寄与することを目的とする。	成田ナンバー版図柄入りナンバープレートで集まった寄付金を活用し、成田ナンバー対象7市町の交通サービスの改善、観光振興を行う。



## (4) 成田空港と地域の連携による地域防災力の向上

### ○成田空港としての災害対応の強化

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
112	成田国際空港BCPの策定に伴う空港運用の安全強化	空港会社	成田国際空港全体の業務継続計画（BCP）を策定し、大規模自然災害が発生した際に、「空港利用者の安全・安心の確保」、「航空ネットワークの維持又は早期復旧」、「地域貢献」を基本方針に、空港関連事業者が連携し、迅速かつ的確な対応を行い、災害に強い成田国際空港を形成することを目的とする。	「空港利用者の安全・安心の確保」、「航空ネットワークの維持又は早期復旧」、「地域貢献」を基本方針に、空港関連事業者で構成する総合対策本部及び空港関連事業者の役割分担等の空港全体として機能維持・復旧に必要な共通の事項を定めており、各空港関連事業者の個社BCP等は成田国際空港BCPと整合・連携した内容とする。災害発生時に空港へ避難してきた周辺の地域住民の一時的な避難所としての機能を確保する等、地域への貢献を積極的に行うこととしている。

### ○空港を有する地域としての、災害に強い地域づくり

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
113	備蓄物資の状況等に関する情報の相互共有	千葉県	県や市町村がそれぞれ備蓄している物資の情報をあらかじめ共有することにより、災害が発生した際の物資の有効活用及び物資支援の円滑化を図る。	県と市町村及び市町村間で、物資を適時適切に有効活用できるように、保有する備蓄物資の種類、数量、仕様等について、調査し、県・市町村相互で情報の共有を図る。
114	洪水浸水想定区域図の策定	千葉県	平成27年5月に改正された水防法に基づき、水位周知河川において、「想定し得る最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域図を作成する。	河川が氾濫した場合の浸水が想定される区域である洪水浸水想定区域について、既に公表している「計画規模」の降雨から、近年多発している激甚な浸水被害への対応を図るため、「想定し得る最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域図を作成する。
115	洪水ハザードマップ作成	関係市町	地域の水害リスクと水害時の避難に関する情報を住民等に提供し、住民避難に活用されることを目的とする。	想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域が指定されたのち、市町は、洪水浸水想定区域や避難場所及び避難路等に関する事項を記載した、洪水ハザードマップを作成し、住民等へ周知し活用を図る。
116	騒音下地域での防災無線受信環境の整備	成田市	航空機の騒音により、屋外にある防災行政無線の放送が聞こえずらい世帯に対し防災情報を伝達する。	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律の指定に基づき指定された成田国際空港の第1種区域、第2種区域及び第3種区域並びにA・B滑走路に係る第1種区域に挟まれた地域内にある世帯を対象に防災行政無線戸別受信機を貸与する。
117	災害に備えた防災力の強化	栄町	成田空港の更なる機能強化を推進する中で、航空機事故や台風等の災害に対応するため、広域的な連携のもと、地域の防災力の強化を図る。	・空港周辺市町の広域的な応援体制を強化することにより、成田空港等での航空機災害などの大規模災害時における救助支援に必要な消防車両や救急車両等の整備 ・救助活動の拠点となる消防庁舎の非常用発電機を低燃費・長時間稼働型へと機器更新を図る。

## 2. 産業振興

### (1) 今後の空港とまちづくりを支える産業振興等

#### ① 空港を活用した地場産業・中小企業振興

○企業が自主的に取り組む経営の向上及び改善の支援による経営基盤強化

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
118	千葉のポテンシャルを活かした地域産業活性化事業	千葉県	特色ある農林水産物や観光資源などの地域資源に恵まれており、地域資源を活用した新商品の開発やブランド化に取り組む地域や中小企業等に対し、専門人材による支援を行い、地域産業の活性化を目的とする。	○地域資源活用アドバイザーによる支援 ・新商品や新サービスの企画・開発と販路開拓 ・地域のブランド化支援 ・国や県の支援制度に関する情報提供等 ○専門家派遣による支援 ・事業者の課題（商品開発・デザイン等）解決に適した専門家を派遣
119	中小企業資金融資条例に基づく融資の実施及び利子補給	富里市	市内中小企業の健全経営の支援。	中小企業資金融資制度の原資として取扱金融機関に預託し、商工業者の経営改善を支援する。また、融資を受けた中小企業への利子補給を行い資金繰りを円滑化する。

○空港／航空関連企業と地域の企業のマッチングの推進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
120	おいしい千葉と空の商談会	成田空港活用協議会	県経済の活性化を図るため、航空／空港関連企業と会員企業を含む県内事業者との商談会を開催し、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現及び会員や県内事業者の航空／空港関連事業との取引機運の醸成を図る。	航空／空港関連企業をバイヤーとして、県内事業者をサプライヤーとして募集し商談会を開催する。商談会に向けては、商談会に精通した専門事業者による説明会やアドバイスを実施し、成約率の向上を図る。また、商談会後もアンケートなどを活用して、サプライヤーが行うバイヤーへのアフターフォローに対してアドバイス等を実施する。

○空港の立地優位性を生かした航空物流拠点化

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
121	IATAの医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」の取得（空港コミュニティ方式）を目指すことによる高付加価値貨物の取り扱い促進	空港会社	成田空港で取り扱う医薬品の貿易額は、港を含む全国の医薬品貿易額の約半分を占めていることから、同認証を取得することにより、医薬品貨物の取り扱い品質を向上するとともに当空港の航空物流拠点化を更に促進。	成田空港で国際航空輸送に携わる関係事業者とともにコミュニティを結成し、IATAの提唱する医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」の取得を目指す。
122	貨物のオペレーション効率を高めるトラックドックシステム等デジタル化の推進・施設整備・運用計画の検討	空港会社	貨物上屋におけるトラックドックマネジメントシステムを導入することにより、構内の交通渋滞対策を行うとともに、貨物オペレーション効率の向上を図る。	貨物上屋におけるトラックドックマネジメントシステムの導入。

○土産品の開発

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
123	千葉のポテンシャルを活かした地域産業活性化事業【再掲】	千葉県	特色ある農林水産物や観光資源などの地域資源に恵まれており、地域資源を活用した新商品の開発やブランド化に取り組む地域や中小企業等に対し、専門人材による支援を行い、地域産業の活性化を目的とする。	○地域資源活用アドバイザーによる支援 ・新商品や新サービスの企画・開発と販路開拓 ・地域のブランド化支援 ・国や県の支援制度に関する情報提供等 ○専門家派遣による支援 ・事業者の課題（商品開発・デザイン等）解決に適した専門家を派遣

124	観光推進事業（ふるさと産品育成等）	富里市	<p>国の国家戦略である「観光立国」や、オリパラ開催及び、成田空港の更なる機能強化というこの上ない契機に際し、富里の魅力を市内外へ向け発信し、富里ファンを獲得し「地域力でもてなす観光」を推進していく。</p>	<p>地域資源を活用した観光PRをするため、すいかの苗1株ごとにオーナーを募る「すいかオーナー制度」をJA富里市、JA富里市西瓜部等の協力を得て実施する。</p> <p>また、馬に関連するイベント等を実施し、市内外に「馬のふるさとすいかの里」である富里市をPRする。</p> <p>県内外の物産展への出展、観光ガイドブックの配布、観光PR動画上映、フィルムコミッション等で観光情報や富里の魅力を発信する。</p> <p>併せて、市内で生産された農畜産物等の加工品「ふるさと産品」の充実、岩崎家ゆかりの地連携における地場産商品の広域流通を図り、食においても富里市をPRする。各種事業の実施及びPRは、市観光協会等と情報共有・連携し効果的に実施する。</p>
-----	-------------------	-----	--	---

○その他、特に力を入れている取組

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
125	成田ナンバー普及促進協議会	成田市	<p>協議会は、成田ナンバー版図柄入りナンバープレートの普及促進を図り、成田ナンバー対象地域（成田市、富里市、山武市、神崎町、多古町、芝山町、横芝光町）の魅力を内外に発信するとともに、交通サービスの改善及び観光振興に寄与することを目的とする。</p>	<p>成田ナンバー版図柄入りナンバープレートで集まった寄付金を活用し、成田ナンバー対象7市町の交通サービスの改善、観光振興を行う。</p>

## ② 今後の空港とまちづくりを支える企業誘致

### ○新たな産業用地の確保策による市町村支援の実施

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
126	新たな産業用地の確保策	千葉県	交通網の充実強化や成田空港の機能強化を背景に、本県への企業の立地ニーズが堅調に推移する一方、その受け皿となる産業用地が年々減少している。県による整備が困難であるなか、新たな産業用地の確保策を策定したものの。	県・市町村・民間企業の役割分担の下、それぞれの強みやノウハウを効果的に生かした産業用地の整備を推進する。 (主な役割) 市町村：場所の選定・権利者の意向調整・土地利用規制に係る調整 民間企業：用地の買収・造成・分譲 県：市町村と民間企業の総合調整・事業可能性調査やインフラ整備等に係る補助金の支給

### ○産業用地整備事業の段階に応じた市町村向けの補助金の活用

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
127	新たな産業用地の確保策【再掲】	千葉県	交通網の充実強化や成田空港の機能強化を背景に、本県への企業の立地ニーズが堅調に推移する一方、その受け皿となる産業用地が年々減少している。県による整備が困難であるなか、新たな産業用地の確保策を策定したものの。	県・市町村・民間企業の役割分担の下、それぞれの強みやノウハウを効果的に生かした産業用地の整備を推進する。 (主な役割) 市町村：場所の選定・権利者の意向調整・土地利用規制に係る調整 民間企業：用地の買収・造成・分譲 県：市町村と民間企業の総合調整・事業可能性調査やインフラ整備等に係る補助金の支給

### ○企業誘致の推進に向けた企業向けの補助金の活用

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
128	千葉県立地企業補助金	千葉県	県内への企業立地を促進することにより、経済の活性化と雇用の確保を図る。	県内で新たに土地を取得し工場等を新設する場合や既に工場等を操業する企業が生産拡大等を目的とした工場等の増設を行う場合、建物に係る不動産取得税相当額や償却資産に係る固定資産税相当額を補助する。
129	企業誘致事業	成田市	企業立地を促進	市内に工場や事務所を新たに設置する企業、または、新たに本市に本社を設置する常用雇用者100人以上の企業に対し、3年間の奨励金を交付して企業の立地を促進する。
130	企業誘致事業	富里市	成田空港の更なる機能強化に伴い、空港関連企業の更なる進出が見込まれる中、平成30年度に策定した「都市マスタープラン」や、平成30年3月に策定された「産業振興ビジョン」を基に企業誘致に努める。	立地企業が工業団地での操業を継続するために、企業のニーズを把握し、また国・県・他自治体の施策・事例を参考にして、また、富里市工業団地企業立地促進条例の改正も含めて施策を検討する。 工業団地内に進出希望の企業についての審査を行う。また、企業立地奨励金や雇用促進奨励金の交付を受けようとする企業の指定を行う。 工業団地以外への企業誘致についての手法等を検討し推進していく。
131	企業誘致事業	香取市	成田国際空港に近接した立地を活かした企業誘致を行い、市内経済の活性化及び雇用の場の確保を図る。	市内経済の活性化、雇用の場の確保のため、地域経済の基盤となる企業誘致を推進する。誘致可能な用地を確保し、成田国際空港に近接した立地を活かし、企業のニーズ把握を行いながら工業団地の整備検討を進める。
132	企業誘致促進事業	山武市	企業立地の促進。	成田国際空港の機能強化や圏央道大栄一松尾横芝間の開通予定に伴い、地域特性に合った企業誘致を行う。
133	企業誘致	多古町	成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備に合わせて、新たな企業の進出と雇用の場の創出を促進する。	企業が要件を満たし、新設・移設を行った場合、奨励金を交付する。また、要件を満たし増設を行なった場合も、奨励金を交付する。
134	企業誘致検討調査事業	多古町	多古町未来構想において、工業や物流等の産業集積、空港関連産業等の誘致等、企業誘致を推進することとした、企業誘致促進地区等を対象に基礎条件整理や民間事業者ヒアリングを行うとともに、実現に向けた方策を検討し、今後の検討課題や展開方針を明らかにする。	多古町未来構想において、工業や物流等の産業集積、空港関連産業等の誘致等、企業誘致を推進することとした、企業誘致促進地区等を対象に基礎条件整理や民間事業者ヒアリングを行うとともに、実現に向けた方策を検討し、今後の検討課題や展開方針を明らかにする。

135	企業誘致推進事業	芝山町	企業立地の動向を調査し、町の立地ポテンシャル及び導入業種を分析し、町の産業系土地利用方針を検討し、企業誘致を推進する。	成田空港の更なる機能強化にあわせ、空港周辺に企業誘致を図るため産業系拠点創出可能性調査を実施。
136	企業誘致促進事業	横芝光町	広域的交通の利便性や成田空港への近接性といった産業立地の魅力を発信しながら、県などとの連携により企業誘致を促進する。	成田空港の機能強化に合わせ、企業誘致の促進を目的に、H30年度末企業立地促進条例を制定。県企業立地課や金融機関等と連携により、町内に企業誘致を促進するための調査や、土地のマッチングを進める。
137	国道356号沿いへの物流関連企業誘致事業	栄町	成田空港から近い国道356号バイパス沿いは、企業進出の要望も強く、町においても都市計画マスタープランで「沿道ポテンシャル活用エリア」に位置付けており、流通業務施設の誘導を図り、雇用の創出を図る。	成田空港の機能強化をチャンスととらえ、国道356号沿いのポテンシャルを生かし物流関連企業の誘致を促進する。
138	鎌ヶ谷・本埜BPへの企業誘致事業	栄町	成田空港の機能強化をチャンスと捉え、本町と千葉ニュータウンを結ぶ県道鎌ヶ谷・本埜線バイパスと県道成田安食線バイパスの交差点部付近に、流通業務など企業の誘導を図り、雇用の創出を図る。	成田空港の機能強化をチャンスととらえ、鎌ヶ谷・本埜BPと成田安食線バイパスの交差点部付近に企業等の誘致を行う。

○地域特性に合わせた土地利用計画の見直し・推進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
139	吉倉地区周辺まちづくり事業	成田市	成田空港の更なる機能強化や国際医療福祉大学成田病院（大学病院）を核とした医療関連産業の集積に伴う、新たな開発需要や人口増加に適切に対応していくための都市機能や住環境の整備を図る。	都市計画マスタープランに掲げた吉倉地先の鉄道構想駅を設置し、構想駅から畑ヶ田地区に開院する大学病院までの周辺区域において、市街化編入したうえで、土地区画整理事業などにより、公共施設（道路、公園等）の整備・改善及び住環境（宅地）の整備を進める。また、併せて医療関連産業の集積を図る。
140	都市計画の見直し調査事業	成田市	千葉県が定める航空機騒音障害防止地区等の見直しに併せて、区域マスタープラン等の見直しを行うとともに、騒音防止地区等と重複する用途地域や地区計画を変更し、適切な土地利用を推進する。	・区域マスタープランの見直し ・用途地域、地区計画等の都市計画の変更 ・都市計画区域の統合（下総・大栄）
141	都市計画マスタープラン改訂事業	多古町	圏央道整備や成田空港の更なる機能強化といった社会情勢の変化に対応するため、都市計画マスタープランの見直しを実施する。	令和元年度 ・現状の課題の整理 ・現行計画の評価 ・必要情報の収集、分析、資料作成 ・全体見直し方針概略検討 ・町民意見の収集 ・作業部会、検討委員会の開催 ・中間報告 など  令和2年度予定 ・地域別構想検討 ・町民との懇談会 ・作業部会、検討委員会、都市計画審議会の開催 ・素案作成及びパブリックコメント実施 ・編集及び印刷製本 同時期に策定を進める多古町総合計画に即した計画とする。
142	圏央道 I C 周辺土地利用推進事業	多古町	政策 I C 並びに空港東側からのアクセス整備に伴い、有効活用が期待できる空港東側の土地において、住宅用地（移転者用地含む）、商業用地、工業用地等の複合用途の区域を設定し、事業者誘致を図る。	政策 I C 並びに空港東側からのアクセス整備に伴い、有効活用が期待できる空港東側の土地において、住宅用地（移転者用地含む）、商業用地、工業用地等の複合用途の区域を設定し、事業者誘致を図る。
143	農業振興地域整備計画策定業務	多古町	成田空港の更なる機能強化や第3滑走路計画・圏央道の建設を見据えた、町全体の未来構想の実現に向けた農業振興地域整備計画を策定する。	圏央道や成田空港の更なる機能強化の経済波及効果を受け止めるための将来的な土地利用と守るべき農地との調和のとれた計画を策定する。
144	富里市第三工業団地についての調査研究	富里市	新たな工業団地整備についての検討。	既存工業団地の立地率が100%であり、更なる企業進出や、雇用創出の観点から、新たな工業団地整備に向けた調査・検討を行う。
145	利根川「道の駅」（計画中）による農業活性化事業	栄町	町の基幹産業である農業の高付加価値化及び、商業の活性化に資すると共に、他市町の特産品等の販売等を行い、空港周辺市町の産業振興を図る。	民間企業の事業参加のもと、企業のノウハウを活かした利根川や筑波山が眺望でき、地元の米や空港周辺市町の特産品などの農産物の販売を促進し、国道356号沿いに空港周辺の新たな魅力となる道の駅を設置する。

○その他、特に力を入れている取組

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
146	空き公共施設等を活用した企業誘致促進事業	千葉県	小学校や幼稚園などの空き公共施設や空き家などの増加が大きな課題となっているなか、空き公共施設や空き家等に企業誘致を図ることで「しごとの場」を創設し、地域経済の活性化に繋げる。	委託先のネットワークの活用や企業向けアンケートの実施を通じて、廃校となった小学校などの空き公共施設等への立地・企業活動に関心のある企業の発掘を行う。
147	国家戦略特区推進事業	成田市	本市は、「国際医療学園都市構想」と「エアポート都市構想」を国に提案し、「国家戦略特別区域を定める政令」（平成26年5月公布、施行）によって東京圏の一部として国家戦略特区に指定されている。指定を受けた後は、区域計画に定められた規制緩和事項を円滑に押し進める必要があることから、本事業を立ち上げた。	国家戦略特区制度を活用し国際医療福祉大学医学部が開学したことに伴い、附属病院が畑ヶ田地先に開設される。 (建設工事：延床面積105,678.81㎡、令和2年2月末竣工、令和2年春開院、41診療科、642床)
148	旧学校施設利活用検討事業	富里市	平成29年度に廃校となった旧洗心小学校施設について、地元団体と協議しながら利活用の検討を行う。	利活用について庁内で検討し、今後は地元住民と協議しながら方向性を検討していく。
149	矢口工業団地の新たな拡張事業	栄町	矢口工業団地は、空港から近いため人気があるにもかかわらず、一杯の状況である。しかし、空港の機能強化をチャンスと捉え、既存企業の工場拡張要望や新規進出を希望する企業に対応するため、新たな工業団地拡張を進めることで、税収の増加と地元雇用の増大や定住・移住の促進が図られる。	成田空港の更なる機能強化による新たな企業進出の受け皿として、矢口工業団地の更なる拡張を図り、町の活性化を図る。
150	IATAの医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」の取得（空港コミュニティ方式）を目指すことによる高付加価値貨物の取り扱い促進	空港会社	成田空港で取り扱う医薬品の貿易額は、港を含む全国の医薬品貿易額の約半分を占めていることから、同認証を取得することにより、医薬品貨物の取り扱い品質を向上するとともに当空港の航空物流拠点化を更に促進。	成田空港で国際航空輸送に携わる関係事業者とともにコミュニティを結成し、IATAの提唱する医薬品輸送品質認証「CEIV Pharma」の取得を目指す。
151	貨物のオペレーション効率を高めるトラックドックシステム等デジタル化の推進・施設整備・運用計画の検討	空港会社	貨物上屋におけるトラックドックマネジメントシステムを導入することにより、構内の交通渋滞対策を行うとともに、貨物オペレーション効率の向上を図る。	貨物上屋におけるトラックドックマネジメントシステムの導入。

## (2) 空港を起点とする観光振興策の推進

### ○空港周辺地域における観光振興策の推進体制の充実

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
152	Narita Airport Transit & Stay Program	成田市、芝山町、多古町、香取市、栄町、神崎町、空港会社、成田国際空港振興協会、民間企業	市町内の事業者と連携して成田空港を起点とした観光振興を図る。	成田空港のトランジット旅客及び成田空港周辺の宿泊施設に宿泊する訪日外国人旅行者を対象に、日本の自然や文化等を体験できる魅力的なモデルコースを設定し、ボランティアガイドが同行するツアー（無料）を実施するとともにセルフツアーも推奨する。
153	ウェルカム成田セレクトバスツアー利用促進	成田市、芝山町、多古町、香取市、栄町、神崎町、空港会社、成田国際空港振興協会、民間企業	空港周辺の事業者と連携し、成田空港を起点とした観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月より開始した、成田空港地区周遊バス（有料）の運行。</li> <li>JRバス関東株が運行し、トランジット&amp;ステイプログラム協議会がPR及びボランティアガイドの調整等を行う。</li> </ul>

### ○空港を活用した手法も含めた魅力発信・旅客誘導

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
154	期間限定アンテナショップ事業（成田国際空港店舗内ミニアンテナショップ事業）	千葉県	外国人旅行者の増加に対応するため、成田国際空港内に県産品を取り扱うスペース（ミニアンテナショップ）を設置する。	外国人向け県産品の認知度向上や販売促進、また新たな商品開発のためのデータの取得を図るため、成田空港に県産品を取り扱うスペースを設置する。
155	外国人観光客向けプロモーション事業	千葉県	成田国際空港を擁する優位性等を活かして、外国人観光客を積極的に誘致することにより、観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外国際観光展でのPR（台湾、タイ、マレーシア、ベトナム）</li> <li>現地商談会やセミナーの開催（台湾、タイ）</li> <li>県内の観光事業者を募った観光ミッション団によるセールス（台湾、マレーシア）</li> <li>現地旅行会社・メディアの招請（ASEAN諸国・対象未定）</li> </ul>
156	外国語SNSを活用した観光情報発信強化事業	千葉県	SNSを利用しているターゲット国の潜在的日本ファンに対し観光コンテンツを積極的に発信することで、訪日旅行促進につなげる。	現地目線での観光コンテンツ取材及びfacebook記事の作成、外国人に訴求しやすい適切な時期・時間帯での投稿、閲覧者からの質問への対応等をする。
157	観光情報発信ウェブサイトの管理・運営事業	千葉県	観光情報の提供により本県への観光客誘致及び観光客の利便性向上を図る。	日本語や多言語サイトを適正に維持管理するとともに多言語サイトの情報充実化や千葉県の魅力を幅広く発信する特集記事の作成を行う。
158	訪日団体旅行客向けバスツアー支援事業	千葉県	県内で周遊・宿泊する外国人団体旅行客の増加を図る。	海外旅行会社が県内での観光・宿泊を伴う訪日団体旅行を造成した場合のツアー造成費用の支援等を行う。
159	観光情報プラットフォーム情報発信	空港会社	観光情報プラットフォーム「TOKYO-NARITA Japan Explorer」において、成田空港を利用するインバウンドのお客様の増加や観光を軸としたインバウンド実需拡大の促進。	成田空港を起点としてアクセス可能な国内各都市の観光情報・アクセス情報を提供するほか、訪日意欲を喚起する特集記事の掲載やアクティビティ等予約サイトへの送客。
160	ランドオペレーターとの商談会	成田空港活用協議会・千葉インバウンド促進協議会	千葉県の魅力や成田空港の利便性をランドオペレーターに伝え、海外（特にアジア）から千葉県への観光客増加を目指すことを目的としている。	訪日外国人の増加が著しい東アジアや東南アジア向けの旅行商品を手掛ける（国内）ランドオペレーターとの商談会を実施する。

161	スポーツツーリズム推進事業 (スポーツ大会・事前キャンプ等誘致、ホストタウン事業、都市ボランティアの育成・運営、聖火リレー、コミュニティライブサイトなど)	成田市	スポーツツーリズムを推進することにより、地域の活性化と市民の満足度を向上させる。	本市の優れたスポーツ資源と、ツーリズム(旅行・観光)を融合させたスポーツツーリズムを推進し、市民の意識醸成とスポーツを介した観光客の取り込みを図る。 令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、アメリカ陸上チーム及びアイルランドパラリンピックチームの事前キャンプの受け入れや、両国とのホストタウン事業などを実施するとともに、市民への機運醸成を図る。 また、都市ボランティアの育成や運営、表参道などを通過する聖火リレー、コミュニティライブサイトや観戦ツアーの実施などにより、大会の盛り上げを図る。
-----	--	-----	--	---

○地域資源を生かした滞在型観光地域づくり

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
162	観光地域づくり育成支援事業	千葉県	地域資源の活用等による持続可能な観光地域づくりにより、人と消費を呼び込み地域経済の活性化に結び付ける。	市町村等が地域資源の活用等により持続可能な観光地域づくりを目的として行う事業に対し、補助する。  [補助率] インバウンド誘客に寄与する事業：2/3以内、その他事業：1/2以内 [補助限度額] ①複数市町村域内での取組 2,500千円×市町村数 ②単独市町村域内での取組 2,000千円
163	観光地魅力アップ整備事業	千葉県	本県を訪れる国内外からの観光客にとって、利便性が高く、機能が強化され、また清潔な環境を提供・整備することによって千葉県ならではの「おもてなし」を表現する。	多くの観光客が利用する観光公衆トイレや駐車場、観光案内板等の観光関連施設の整備にかかる経費の一部を補助する。  [市町村] 補助率：2/3 補助限度額：1,000万円 [民間事業者] 補助率：3/4 補助限度額：500万円

○安全安心でストレスフリーな観光に向けた環境整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
164	外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業	千葉県	オリパラの当年を迎えるにあたり、大会前の駆け込み需要に備えるとともに、オリパラ後も増加が見込まれる外国人観光客を県内くまなく周遊させ、インバウンド消費を県内全域に拡大させるため、無料公衆無線LAN環境を整備する市町村等の取組に対し補助する。	外国人観光客の受入れ環境を整備するため、市町村や宿泊施設等の公衆無線LAN環境整備の取組に対し経費の一部を補助する。 補助率：2/3 補助限度額：500万円
165	宿泊施設のバリアフリー化改修補助事業	成田市	宿泊施設の改修を行う者に対し、当該改修に要する経費の一部を補助することにより、本市を訪れる高齢者、障害者等が安全で快適に宿泊施設を利用できる環境整備を推進し、もって観光客の増加及び共生社会の実現に寄与することを目的とする。	共生社会の実現に向け、宿泊施設のバリアフリー化改修に対し、補助をする。

○地域の観光資源の発掘・磨き上げ

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
166	成田市公設地方卸売市場施設整備事業(市場の移転、整備、民設による集客施設等の整備)	成田市	生鮮食料品等の安定的な流通を確保するとともに、空港を活用した国産農水産物の輸出拡大に寄与する。	従来の市場機能に加え、衛生管理の整った加工施設や日本初のワンストップ輸出拠点機能を有する高機能物流拠点施設を新たに整備し、さらに情報発信拠点として空港滑走路に隣接する特色を生かし、消費拡大に結びつくインバウンド需要の獲得と新たな観光拠点としての役割を目指した集客施設棟を民設にて整備する。
167	岩崎家ゆかりの地広域連携事業	富里市	三菱グループ第3代社長の岩崎久彌ゆかりの史跡がある富里市、高知県安芸市、岩手県雫石町、東京都台東区の4地域で連携して観光資源の発掘や、観光ルートの造成、関連施設の整備等を一体的に推進する。	・PRイベントの実施や情報発信の強化 ・モニターツアーの実施など観光商品の開発に向けた検討 ・地域間での特産品等の流通や、住民交流の促進 ・観光拠点施設の整備(民間活用) ・日本遺産に関すること



168	観光振興事業（スイカオーナー制度や物産展への積極の出店、ロケ誘致等）	富里市	国の国家戦略である「観光立国」や、オリパラ開催及び、成田空港の更なる機能強化という、この上ない契機に際し、富里の魅力を市内外へ向け発信し、富里ファンを獲得していき、「地域力でもてなす観光」を推進していく。	地域資源を活用した観光PRをするため、すいかの苗1株ごとにオーナーを募る「スイカオーナー制度」をJA富里市、JA富里市西瓜部等の協力を得て実施する。 また、馬に関連するイベント等を実施し、市内外に「馬のふるさと すいかの里」である富里市をPRする。 県内外の物産展への出展、観光ガイドブックの配布、観光PR動画上映、フィルムコミッション等で観光情報や富里の魅力を発信する。併せて、市内で生産された農畜産物等の加工品「ふるさと産品」の充実、岩崎家ゆかりの地連携における地場産商品の広域流通を図り、食においても富里市をPRする。各種事業の実施及びPRは、市観光協会等と情報共有・連携し効果的に実施する。
169	伝統文化の保存と活用	香取市	市内で継承されている伝統行事を核とした観光振興を図る。	日本遺産の認定、ユネスコ無形文化遺産の登録などを受けた海外に誇れる伝統文化の継承、指定文化財の維持管理のほか、後継者や活動支援を図る。
170	観光振興対策事業	香取市	訪日外国人観光客の誘客に向け、訪れた外国人観光客の受入態勢の充実を図るため、インフラ整備を実施する。	市内観光資源の特性と地域性を活かした通年型観光を推進し交通機関の充実により、回遊性の高い観光を目指す。成田空港や首都東京から近いという立地条件を活かし、Narita Airport Transit & Stay programの活用及びDMO、DMCと連携し市内に外国人観光客を誘客する。
171	ブルーフラッグ認証、連沼海浜公園を含めた海岸を活用した観光振興事業	山武市	きれいで安全な海水浴場を維持することにより観光客の来遊を誘引する。	観光客が利用したい・利用しやすい海岸を維持するため清掃・管理をおこない海岸周辺観光の活性化を図る。
172	コスプレ国際観光による地域経済活性化事業	栄町	空港の機能強化をチャンスをとらえ、コスプレの館の更なる振興を図り、海外でも有名になるなど名実ともに「コスプレの里」、コスプレのメッカとする。	成田空港から至近である地の利を生かし、外国人にも人気のコスプレが体験できる環境を整備するため、平成30年5月にコスプレの館の新館を整備した。ここを拠点に、房総のむらや成田市と連携し、コスプレによる観光客の一層の誘客及びコスプレ産業の展開による地域経済の活性化を図る。
173	発酵文化振興事業	神崎町	神崎町に古くから伝わる発酵文化の情報発信、継承していく人材の育成、新たな発酵食品の開発等、発酵によるまちづくりの推進を図る。	道の駅発酵の里こうざきにおける発酵体験や視察の受け入れ、町民向けの発酵体験や発酵イベントの開催。
174	観光行事運営事業	神崎町	観光事業により町内が活性化することで成田空港周辺地域の活性化に寄与する。	年々規模が拡大している「酒蔵まつり」の開催をはじめとし、道の駅とも連携した観光イベントを開催していく。
175	歴史的資源等活用事業（その1、その2）	多古町	（その1） 町内観光資源の環境を整備し、観光客の利便性を高める。 （その2） 観光地やロケ地としての魅力を高めることにより、来訪者や利用者の増加を図る。	（その1） 多古町有数の歴史建造物である旧多古郵便局を移設改修し、観光客等を誘致できるような魅力ある建造物として有効活用する。 （その2） 多古町の木造建造物である旧興新小学校を改修整備し、昔の学び舎としての特色を持たせ、またTVや映画等のロケ地としてさらなる利用促進することで、観光客等を誘致できるような魅力ある建造物として有効活用する。
176	道の駅多古拠点整備事業	多古町	施設老朽化に伴い、改修整備を計画的に進めることで集客力の向上を図る。	町の地域振興に関する拠点とするため、改修工事を計画的に実施する。
177	多古町魅力発信交流館の維持管理	多古町	・多古こども園の開設後、空き施設となっていた旧多古中央保育所について、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、改修工事を行った。 ・本交流館を町の魅力発信や各種観光情報の提供など、移住・定住・交流の促進に向けた地方創生の拠点施設として有効活用することで、更なる人の流れを生み出し、将来的にも持続可能なまちづくりを推進する。	本交流館を地方創生の拠点施設と位置付け、管理運営団体との官民協働により、施設の有効活用を図る。

178	サイクリングロード整備事業	芝山町	過度に自動車に頼った移動形態からの転換に向けて、環境負荷の少ない移動手段として自転車を積極的に活用し、住民の健康福祉や観光・交流を推進するため、自転車の利用環境整備を進める。 高谷川沿いのサイクリングロードについては、高谷川沿いの道路（空港会社による補償道路）整備の中で検討を進める。	高谷川サイクリングロードについては、高谷川沿い道路整備事業（高谷川付近芝山町補償道路（NAA））と一体的に整備することを考えている。 高谷川沿い道路は、都市計画マスタープランにおいて、主要地方道八日市場八街線と国道296号を結び、町東部地域の南北軸を補完する道路として位置付けられ、健康福祉ゾーンに位置し、水と緑のネットワーク軸としての役割も担うことから、周辺空間と調和したサイクリングロードや遊歩道の整備を推進する。 なお、サイクリングコースについては、千葉大学と連携し、設定することを考えている。
179	ニューツーリズム開発促進事業	横芝光町	栗山川や九十九里浜など町の地域資源を活用したニューツーリズムを開発し、観光活用と情報発信により新たな産業として発展させる。	栗山川や九十九里浜など町の地域資源を活用したニューツーリズムの開発と観光活用及び情報発信を実施。 平成31年2月千葉県内で初の国内最大手のアウトドアメーカーのフレンドタウンに登録し、その情報ネットワークとノウハウを活用しながら、約94万人の会員に向けて戦略的に横芝光町をPRし、旅行客を増加させる。
180	学校跡地利活用事業（旧東小学校）	成田市	パークゴルフを通じて「スポーツツーリズム」を推進するとともに、利用者の健康増進や騒音地区における地域の活性化等を図る。	東小学校の跡地及びその周辺にある土地を利用し、公式大会が開催できる36ホールのパークゴルフ場を新たに整備する。なお、既存の十余三パークゴルフ場についても引き続き利用し、新設するパークゴルフ場と一体的に管理・運営を行う。
181	アクティビティ（体験型）商品開発	成田空港活用協議会	急増する訪日外国人空港利用者の千葉県内滞在時間増、千葉県の魅力向上等。	訪日外国人向けのアクティビティ（体験型）商品開発に向け、当協議会会員より公募・選定した事業者と連携してモニターツアーを実施する。併せて、訪日外国人のニーズや評価、実現可能性を探り、千葉県独自のコンセプト設定やマーケティング戦略を構築のうえ、アクティビティ商品の磨き上げや新たな商品開発を行う。

○その他、特に力を入れている取組

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
182	成田ナンバー普及促進協議会	成田市	協議会は、成田ナンバー版図柄入りナンバープレートの普及促進を図り、成田ナンバー対象地域（成田市、富里市、山武市、神崎町、多古町、芝山町、横芝光町）の魅力を内外に発信するとともに、交通サービスの改善及び観光振興に寄与することを目的とする。	成田ナンバー版図柄入りナンバープレートで集まった寄付金を活用し、成田ナンバー対象7市町の交通サービスの改善、観光振興を行う。

### (3) 空港と近接している地域特性を活用した農林水産業の振興

#### ① 力強い産地づくりと販売力の強化

##### ○空港／航空関連企業との商談会等空港ビジネスとのマッチングの推進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
183	おいしい千葉と空の商談会	成田空港活用協議会	県経済の活性化を図るため、航空／空港関連企業と会員企業を含む県内事業者との商談会を開催し、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現及び会員や県内事業者の航空／空港関連事業との取引機運の醸成を図る。	航空／空港関連企業をバイヤーとして、県内事業者をサプライヤーとして募集し商談会を開催する。商談会に向けては、商談会に精通した専門事業者による説明会やアドバイスを実施し、成約率の向上を図る。また、商談会後もアンケートなどを活用して、サプライヤーが行うバイヤーへのアフターフォローに対してアドバイス等を実施する。

##### ○成田市公設地方卸売市場を活用した農水産物の集荷推進、輸出促進

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
184	成田市公設地方卸売市場施設整備事業（市場の移転、整備、民設による集客施設等の整備）	成田市	生鮮食料品等の安定的な流通を確保するとともに、空港を活用した国産農水産物の輸出拡大に寄与する。	従来の市場機能に加え、衛生管理の整った加工施設や日本初のワンストップ輸出拠点機能を有する高機能物流拠点施設を新たに整備し、さらに情報発信拠点として空港滑走路に隣接する特色を生かし、消費拡大に結びつくインバウンド需要の獲得と新たな観光拠点としての役割を目指した集客施設棟を民設にて整備する。

##### ○産地の戦略的な競争力強化と高収益型農業への転換

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
185	「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	千葉県	県産農林水産物の輸出促進を図る。	海外への農林水産物輸出を販路の一つと位置付け、輸出に取り組む生産者・団体への支援を行うとともに、国内外での商談会開催・参加や海外でのフェア開催、見本市の出展等を通じて、積極的な販売促進活動を実施する。
186	6次産業化推進事業（県支援体制整備事業）	千葉県	県内の6次産業化の取組を推進する。	6次産業化支援のためのワンストップ窓口である「千葉県6次産業化サポートセンター」を設置し、農林漁業者等に対して、専門家（6次産業化プランナー）を個別派遣し、事業計画の作成支援等を行う。また、経営感覚を持って6次産業化に取り組める人材を育成するための研修会を開催する。
187	県産農林水産物販路拡大支援事業	千葉県	県産農林水産物や県産農林水産物を主原料とした加工品等の販路の拡大。	県産農林水産物やその加工品の新たな販路を開拓するため、民間等主催の商談会への出展支援を行う。
188	園芸産地競争力強化総合対策事業	千葉県	県内園芸産地の競争力を強化するため、省力化・低コスト化のための大規模な出荷施設の整備や、先進的な技術を活用し収益性を向上させる栽培施設の整備などを支援し、本県農業の主力分野である園芸農業の更なる発展を目指します。	集出荷貯蔵施設、生産技術高度化施設（低コスト耐候性ハウス、高度環境制御栽培施設）等。
189	千葉県園芸産地パワーアップ事業	千葉県	農業の国際競争力を強化するため、生産コスト低減、高付加価値化、高収益作物・栽培体系への転換等の産地営農戦略「産地パワーアップ計画」に基づく取組を支援し、本県園芸農業の更なる発展を目指します。	集出荷貯蔵施設や生産技術高度化施設等の整備 農業機械等の導入及びリース導入 生産資材の導入 等
190	農産物の付加価値向上と販路拡大事業	山武市	山武市産農産物のブランド化及び6次産業を推進し、販路拡大を図る。	各種イベント・アンテナショップなどを活用し山武市産農産物のPR活動を行う。 山武市への誘客を目的とした観光関連事業情報発信を行う。
191	すいかの里生産支援及びPR事業	富里市	市の特産品であり、大切な地域資源である「すいか」の栽培促進、生産意欲向上及び生産者減少の抑制を図るとともに、外国人（インバウンド）も含む更なる販路拡大に向けてのPRや、スイカオーナー制度等により富里ブランドの拡大に努める。	・すいか農家に作付面積による奨励金を支出し、すいか生産の維持拡大 ・すいかオーナー制度 ・各種PR活動

192	観光推進事業（ふるさと産品育成等）	富里市	国の国家戦略である「観光立国」や、オリパラ開催及び、成田空港の更なる機能強化というこの上ない契機に際し、富里の魅力を市内外へ向け発信し、富里ファンを獲得し「地域力でもてなす観光」を推進していく。	地域資源を活用した観光PRをするため、すいかの苗1株ごとにオーナーを募る「すいかオーナー制度」をJA富里市、JA富里市西瓜部等の協力を得て実施する。 また、馬に関連するイベント等を実施し、市内外に「馬のふるさとすいかの里」である富里市をPRする。 県内外の物産展への出展、観光ガイドブックの配布、観光PR動画上映、フィルムコミッション等で観光情報や富里の魅力を発信する。 併せて、市内で生産された農畜産物等の加工品「ふるさと産品」の充実、岩崎家ゆかりの地連携における地場産商品の広域流通を図り、食においても富里市をPRする。各種事業の実施及びPRは、市観光協会等と情報共有・連携し効果的に実施する。
193	農産物ブランド化及び6次産業化等の推進	香取市	香取市内で生産される農産物のブランド化及び6次産業化を促進するため、関係者が一体となった取組を推進することで、香取市産農産物の販路拡大を図る。	首都及び空港近郊に位置する優位性を活かし園芸農産の生産力強化拡大を進めるほか、経営の多角化を目指し、6次産業化やブランド化の推進を図る。
194	特産品「どら黒豆」による地域経済活性化事業	栄町	成田空港の機能強化をビジネスチャンスととらえ、町の特産品（どら黒豆）の希少価値と美味しさを外国人にPRし、高付加価値特産品の取引拡大による地域経済の活性化を図る。	・地方創生推進交付金を活用して、国道356号バイパス沿いを「黒豆街道」と称し、外国人向けの直売や体験を推進することで、空港周辺市町としての魅力度を上げる。 ・本町の特産品「黒大豆」を活用した6次産業化を推進するため、新たな加工品の開発やイベント等を通じたPRを行い、生産・販売の強化や特産品としてのブランド化を図る。
195	利根川「道の駅」（計画中）による農業活性化事業	栄町	町の基幹産業である農業の高付加価値化及び、商業の活性化に資すると共に、他市町の特産品等の販売等を行い、空港周辺市町の産業振興を図る。	民間企業の事業参加のもと、企業のノウハウを活かした利根川や筑波山が眺望でき、地元の米や空港周辺市町の特産品などの農産物の販売を促進し、国道356号沿いに空港周辺の新たな魅力となる道の駅を設置する。
196	農畜産物魅力発信事業	多古町	6次産業化や農商工連携等により農業の活性化を図り、町内外へ多古町の魅力を発信していく。	多古町産農畜産物のPRや6次産業化などを実施し、商業と農業を融合し、農畜産物の魅力を発信する。
197	園芸振興対策事業	多古町	多古町の園芸農業の安定生産や品質向上を図るための生産施設や省力機械、集出荷施設の設備等を集中的に支援する。	生産性の向上を図るため機械購入等に対して、補助を実施し園芸振興を行う。

○農地集積の推進や新技術の活用による農業のスマート化、外国人を含めた多様な労働力の確保などによる担い手の確保

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
198	農業次世代人材投資事業	千葉県	農業従事者の高齢化が進展する中、持続可能な農業を実現するため、青年の新規就農者の増加を図る。	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立に資する農業次世代人材投資資金（就農前後最長7年間、最大年間150万円）を交付する。
199	農業における外国人を含めた多様な労働力の確保につながる取組の推進	千葉県	本県農業の持続的な発展に向け、労働力の安定的な確保を図る。	農業労働力の確保に関する戦略会議を県及び関係機関で設置するとともに、新たに雇用を行う農業者が取り組む休憩施設やトイレ等の就業環境の整備、雇用条件の改善の取組に対して補助金を交付する。
200	農地集積加速化促進事業	千葉県	担い手への農地集積を進め、経営の規模拡大を推進する。	農地中間管理機構の体制を強化するとともに、機構に対して農地を貸し付けた地域や所有者に協力金を交付することで、農地集積の加速化を促進する。

201	スマート農業加速化実証プロジェクト	神崎町	農業者の経営向上のため、担い手不足、高齢化が進む中、生産力の維持向上に対応するため、ICTなど新技術の導入によるスマート農業の実証プロジェクトを推進する。	大規模水田輪作体系のスマート農業実証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転トラクタ</li> <li>・GPS連動直線キープ田植機</li> <li>・オートステア装置（自動操舵システム）</li> <li>・遠隔水管理システム ・農業用マルチコプター</li> <li>・収量メッシュマップコンバイン</li> <li>・汎用ロボットコンバイン</li> <li>・K S A S連動乾燥システム</li> </ul>
202	担い手の支援・育成事業	山武市	農業従事者の減少を抑制する。	国補助の農業次世代人材投資事業、市補助の農業後継者新規就農支援事業を実施し新規就農をしやすい環境を整え認定農業者増加につなげる。
203	農業後継者育成事業	多古町	新規就農者・農業後継者の確保・育成による担い手の確保を行う。	後継者不足・荒廃地の増加を防ぐため、担い手の確保を行い、農業の振興に努める。
204	騒音対策用地の農業経営基盤強化促進法に基づく貸付の推進	空港会社	空港周辺農業者の営農が一層安定的かつ発展的に図れる。	N A Aが所有する騒音対策用地の内、農地について、農業経営基盤強化促進法に基づき市町村が実施する利用権設定等促進事業により空港周辺農業者に対し利用権を設定する。

## ② 農業用水と農地の整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
205	成田用水施設改築事業	独立行政法人水資源機構	水資源開発基本計画に基づき、農業用水の安定供給及び安全な施設管理を図るため、老朽化が進行している成田用水施設を従前の機能に回復させるとともに、大規模地震に対する耐震性能を確保する。	取水施設、揚水機場、幹線水路、支線水路、管理施設等の老朽化対策及び大規模地震対策を行う。
206	根木名川用水施設改築事業	千葉県	農業用水の安定供給及び安全な施設管理を図るため、老朽化が進行している根木名川用水施設を従前の機能に回復させる。	取水施設、揚水機場、水管橋の老朽化対策等の事業化に向けて、調査等を実施中。
207	ほ場整備事業	千葉県、市町	農地の総合的な基盤整備を行うことで、農業所得の安定化と担い手への農地利用集積を図る。	区画の整形・拡大や用排水施設整備等の事業化に向けて、地元説明会等を実施中。

### 3. インフラ整備

#### (1) 空港と地域の発展を支える道路の整備

##### ○広域的な幹線道路の整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
208	首都圏中央連絡自動車道の整備促進	千葉県・関係市町	首都圏全体の交通の円滑化を図り、東京湾アクアラインと一体なって、首都圏の各都市と成田空港等の拠点間を環状につなぎ、国際競争力の強化や国土強靱化を図るとともに、地方創生と地域経済の活性化を実現していく。	国及び東日本高速道路株式会社により整備が進められている首都圏中央連絡自動車道について、大栄・横芝間の令和6年度の開通(但し用地取得が順調な場合)及び県境・大栄間の令和6年度までの4車線化に向け、整備を促進する。
209	国道464号北千葉道路(国施行区間)の整備促進	千葉県・関係市	国道464号北千葉道路の整備により、外環道と成田空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能することを目的とする。	国により進められている成田市北須賀・押畑間の4車線化整備を促進する。
210	国道464号北千葉道路整備事業	千葉県	国道464号北千葉道路の整備により、外環道と成田空港を最短で結び、首都圏の国際競争力を強化するとともに、災害時における緊急輸送道路として機能することを目的とする。	北千葉道路(印西市若萩～成田市北須賀及び成田市押畑～大山間(県施行区間))の整備。
211	銚子連絡道路整備事業	千葉県	広域的な幹線道路ネットワークを形成し、銚子市や旭市方面と圏央道とのアクセス向上や、国道126号の交通混雑の緩和を図る。	地域高規格道路 銚子連絡道路(横芝光町芝崎～匝瑳市横須賀間)の整備。

##### ○広域的な幹線道路や空港へのアクセスする道路の整備、空港へのアクセス強化や地域振興に資する道路の整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
212	国道408号(押畑拡幅)整備事業	千葉県	北千葉道路にアクセスする国道408号(成田市土屋～成田市宝田)の道路交通の円滑化。	国道408号(成田市土屋～成田市宝田)の4車線化整備。
213	県道成田安食線整備事業(成田市押畑)	千葉県	北千葉道路へのアクセス強化。	県道成田安食線(成田市押畑)の4車線化整備。
214	県道成田小見川鹿島港線整備事業(取香～川上)	千葉県	圏央道へのアクセス強化。	県道成田小見川鹿島港線(成田市取香～川上)の4車線化整備及び国道295号とのランプの整備。
215	県道成田下総線整備事業(成田市大室)	千葉県	圏央道へアクセスする県道成田下総線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道成田下総線(成田市大室)の現道拡幅整備。
216	県道成田松尾線外歩道整備事業(成田市内4箇所)	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。	県道成田松尾線、国道464号、県道八街三里塚線、県道横芝下総線の歩道整備を推進する。
217	国道409号整備事業(富里拡幅)	千葉県	東関東道へアクセスする国道409号(富里市七栄～成田市並木町)の道路交通の円滑化。	国道409号(富里市七栄～成田市並木町)の4車線化整備。
218	県道成田両国線整備事業(富里市七栄)	千葉県	東関東道へアクセスする県道成田両国線の交通混雑の緩和を図る。	県道成田両国線(富里市七栄)のバイパス整備。
219	県道八街三里塚線外歩道整備事業・交差点改良事業(富里市内4箇所)	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。また、交通事故や交通渋滞の多い交差点での付加車線の設置を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。	県道成田小見川鹿島港線、県道富里酒々井線、県道成田両国線の歩道整備及び国道296号の付加車線設置を推進する。
220	国道356号(篠原拡幅)整備事業	千葉県	香取市内の交通混雑の緩和を図る。	国道356号(香取市津宮～香取市佐原イ)の4車線化整備。
221	県道佐原八日市場線整備事業(豊橋)	千葉県	老朽化した橋梁の架け換え。	老朽化した橋梁の架け換え。
222	県道小見川海上線整備事業(香取市五郷内)	千葉県	県道小見川海上線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道小見川海上線(香取市五郷内)の現道拡幅。
223	都市計画道路仁井宿与倉線整備事業	千葉県	県道佐原八日市場線の交通の円滑化を図る都市計画道路の整備。	都市計画道路仁井宿与倉線(香取市牧野)の現道拡幅整備。
224	県道成田小見川鹿島港線外歩道整備事業・交差点改良事業(香取市内3箇所)	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。また、交通事故や交通渋滞の多い交差点での付加車線の設置を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。	県道成田小見川海上線の歩道整備及び県道成田小見川鹿島港線の付加車線設置を推進する。
225	県道飯岡一宮線整備事業(山武市小松浜)	千葉県	県道飯岡一宮線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道飯岡一宮線(山武市小松浜)のバイパス整備。
226	県道成田成東線整備事業(山武市松尾町下大蔵)	千葉県	成田空港へアクセスする県道成田成東線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道成田成東線(山武市松尾町下大蔵)の現道拡幅整備。
227	県道横芝山武線整備事業(山武市埴谷)	千葉県	県道横芝山武線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道横芝山武線(山武市埴谷)のバイパス整備。

228	都市計画道路成東駅南口線整備事業	千葉県	JR成東駅への交通アクセスの向上を図る。	都市計画道路成東駅南口線（山武市津辺）の現道拡幅整備。
229	県道成東山武線外歩道整備事業・交差点改良事業（山武市内7箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。また、交通事故や交通渋滞の多い交差点での付加車線の設置を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。	県道成東山武線、国道126号、県道成東酒々井線、県道成東鳴浜線、県道飯岡一宮線、県道日向停車場極楽寺線の歩道整備及び国道126号の付加車線設置を推進する。
230	県道鎌ヶ谷本埜線整備事業（栄町安食）	千葉県	北千葉道路にアクセスする県道鎌ヶ谷本埜線（印西市～栄町）の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道鎌ヶ谷本埜線（印西市～栄町）のバイパス整備。
231	県道成田安食線歩道整備事業（栄町内1箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。	県道成田安食線の歩道整備を推進する。
232	県道郡停車場大須賀線整備事業（神崎町立野）	千葉県	県道郡停車場大須賀線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道郡停車場大須賀線（神崎町立野）のバイパス整備。
233	県道江戸崎神崎線歩道整備事業（神崎町内1箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。	県道江戸崎神崎線の歩道整備を推進する。
234	県道多古笹本線整備事業（多古町多古）	千葉県	県道多古笹本線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道多古笹本線（多古町多古）のバイパス整備。
235	県道多古栗源線整備事業（多古町多古）	千葉県	県道多古栗源線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道多古栗源線（多古町多古）のバイパス整備。
236	県道多古栗源線整備事業（田之倉橋）	千葉県	老朽化した橋梁の架け換え。	老朽化した橋梁の架け換えを推進する。
237	県道多古山田線整備事業（多古町南玉造）	千葉県	県道多古山田線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道多古山田線（多古町南玉造）の現道拡幅。
238	県道多古笹本線歩道整備事業（多古町内2箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。	県道多古笹本線、県道成田小見川鹿島港線の歩道整備を推進する。
239	国道296号整備事業（大里拡幅）	千葉県・空港会社	圏央道から成田空港へのアクセス強化。	国道296号（芝山町大里～多古町喜多）の4車線化整備。
240	県道成田松尾線整備事業及び（仮）滑走路横断道路（芝山町菱田外）	千葉県・空港会社	成田空港周辺の道路ネットワークの強化。	県道成田松尾線バイパスの整備。
241	県道大里小池線外歩道整備事業・交差点改良事業（芝山町内3箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。また、交通事故や交通渋滞の多い交差点での付加車線の設置を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。	県道大里小池線、県道八日市場八街線の歩道整備及び県道八日市場八街線の付加車線設置を推進する。
242	県道飯岡一宮線整備事業（横芝光町屋形）	千葉県	県道飯岡一宮線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道飯岡一宮線（横芝光町屋形）のバイパス整備。
243	県道横芝下総線整備事業（横芝光町横芝）	千葉県	県道横芝下総線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道横芝下総線（横芝光町横芝）のバイパス整備。
244	県道横芝停車場吉田線整備事業（横芝光町富下）	千葉県	県道横芝停車場吉田線の幅員狭隘区間を解消し、道路交通の円滑化を図る。	県道横芝停車場吉田線（横芝光町富下）の現道拡幅。
245	県道横芝白浜停車場線外歩道整備事業・交差点改良事業（横芝光町内3箇所）	千葉県	歩道が未整備、または狭い箇所での歩道整備により、歩行者の安全確保を図る。また、交通事故や交通渋滞の多い交差点での付加車線の設置を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。	県道横芝停車場白浜線、国道126号の歩道整備及び県道横芝上塚線の付加車線設置を推進する。

○地域のまちづくりを支える道路の整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
246	幹線道路整備事業（空港地域周辺）	成田市	空港地域周辺の幹線道路を整備し、物流や移動を円滑にする交通ネットワークを構築する。	成田空港の更なる機能強化、国際医療福祉大学附属病院の開院、新生成田市市場の開場に伴う交通需要の増加を受け止め、国県道との連携を強化するため、成田市幹線道路網整備計画に基づき、既存道路の改良や計画道路の整備を推進する。
247	幹線道路整備事業（吉倉地区周辺まちづくり）	成田市	吉倉地区周辺まちづくりの骨格となる幹線道路の整備を行うい、空港周辺の道路ネットワークを強化する。	都市計画マスタープランの構想に基づく「吉倉地区周辺まちづくり」において、骨格となる幹線道路を整備する。また、東関東自動車道からの利便性を向上させるため、スマートインターチェンジの設置を推進する。
248	幹線道路整備事業	富里市	主要幹線道路をはじめ、生活道路及び通学路の拡幅や歩道の整備、雨水排水対策を計画的に進め、市民の安全と道路の利便性の向上を図る。	インターチェンジ周辺道路、広域幹線道路、都市計画道路等の整備を推進する。
249	市道01-007号線道路改良事業	富里市	主要幹線道路の整備を推進し、市民の安全と道路の利便性の向上を図る。	成田国際空港周辺地域整備計画に基づき実施する事業で、計画期間は平成26年度から令和4年度までで、延長1,200m、幅員12.5mを整備する。



250	山武市道豊岡115号線整備事業	山武市	成田空港への通勤利便性を確保する。	総合計画で市街地ゾーンと位置付けている国道126号沿線から県道112号線及び県道22号線を経由して、成田空港方面に接続する県道62号線と連絡する市道豊岡115号線の整備を行う。
251	芝山小学校前道路整備事業	芝山町	成田空港の更なる機能強化により移転対象となる住民の移転先として、小池地先を移転代替地と定め拠点整備を行う。付近には町内唯一の小学校があり交通量も増加することが見込まれるため先行して道路整備を行う。	縦断勾配が大きく幅員も狭小であり、対向車とのすれ違いも難しいため事故が発生しやすい状況であるため、道路改良工事を実施する。
252	町道19067号線新設事業	栄町	成田空港の更なる機能強化により、人口増加が見込まれる中、安食駅から新たな住宅地に向かう町道の整備を行うことで、成田空港の更なる機能強化により、増加する人口の受け皿となる住宅地の開発を図る。	成田空港の更なる機能強化により、増加する人口の受け皿となる住宅地開発を促進するための町道整備。
253	町道成田神崎線道路改良事業	神崎町	こうざき神崎工業団地や住宅団地における物流及び交流の活性化及び緊急車両到達時間が大幅に短縮され、消防防災活動・地域医療の充実により安心・安全なまちづくりを図る。	本路線の整備は、主要県道・圏央道下総ICへのアクセスが容易となり、物流や交通の活性化、消防活動・地域医療の充実による安心・安全なまちづくりを促進するために道路改良を実施する。
254	町道神宿松崎線道路改良事業	神崎町	「道の駅発酵の里こうざき」の活性化及び成田市方面からの避難経路確保や企業立地を推進することを目的とする。	「道の駅発酵の里こうざき」の活性化及び成田市方面からの避難経路確保や企業立地を推進することを目的として、道路拡幅や道路改良をする。
255	町道毛成堀籠線道路改良事業	神崎町	神崎工業団地への通勤車両増加に伴う市町拠点間連携強化及び市町間の緊急物資輸送道路としての機能強化を目的としている。	一級河川大須賀川に架かっている毛成橋の老朽化に伴う架け替えを実施し、併せて道路拡幅をおこなう。
256	インフラ整備道路改良事業（新設：町道南玉造線）	多古町	町道南玉造線については、県東部市域と成田空港のアクセス強化を図ることを目的とする。	町道西古内・南玉造線及び町道飯笹・西古内線等を介して、農林水産業が盛んな県東部地域と空港東側市域とを結ぶ路線の一部を構成する路線であり、併せて本町から空港までのアクセスを踏まえた東西交通の骨格路線として整備する。
257	インフラ整備道路改良事業（新設：（仮称）町道南玉造・坂線）	多古町	町道南玉造・坂線については、県東部市域と成田空港のアクセス強化を図ることを目的とする。	町道西古内・南玉造線及び町道飯笹・西古内線等を介して、農林水産業が盛んな県東部地域と空港東側市域とを結ぶ路線の一部を構成する路線であり、併せて本町から空港までのアクセスを踏まえた東西交通の骨格路線として整備する。
258	インフラ整備道路改良事業（新設：（仮称）町道鷹ノ巣・二本松線）	多古町	町道鷹ノ巣・二本松線については、当該地区を通過する唯一の幹線道路である県道横芝下総線の成田空港の更なる機能強化による交通環境に悪化に対応するため、交通分散及び交通環境の改善と併せて、当該エリアの地域振興を図ることを目的とした東西アクセス道路である。	五辻、鷹ノ巣、一畷田地区を通過する唯一の幹線道路である県道横芝下総線が、現状においても物流等の大型車両の交通量が非常に多く、交通混雑が生じていることから交通分散を目的とし、起点を主要地方道横芝下総線を起点とし、終点を一般県道佐原多古線とする新たな東西アクセス道路を整備する。また、成田空港の更なる機能強化後の土地利用や交通量の増加をも踏まえ、新たな複合エリア整備を予定する。
259	インフラ整備道路改良事業（改築：町道染井・間倉線）	多古町	成田空港の更なる機能強化に合わせ、中心市街地からメインの空港へのアクセス道路として位置づけ、円滑な交通の確保を図ることを目的とする。	成田空港の更なる機能強化による空港周辺の付替道路について検討を進める中で、国道296号の4車線化を踏まえた上でも、交通量の分散を図る必要がある。（当該路線への交通流入が予測される。）町としては、中心市街地からメインの空港へのアクセス道路として位置づけの上、円滑な交通の確保を図るために当該路線の整備を予定する。
260	インフラ整備道路改良事業（改築：町道染井・林線）	多古町	成田空港と多古工業団地を結ぶ道路であり、成田空港の更なる機能強化及び圏央道開通に伴い交通量の増加が予想されることから、道路拡幅及び歩道を整備することにより道路機能及び安全対策の向上を図ることを目的とする。	成田空港と多古工業団地を結ぶ道路であり、現状においてセンターラインもなく、道路機能が低い。今後、圏央道建設による周辺道路の廃止集約及び成田空港の更なる機能強化における航空貨物取扱量の大幅な増加が見込まれることや、多古工業団地から空港への交通量も増加が予測されることから、当該路線の道路拡幅及び歩道の整備を実施する。

261	横芝光町道 I-18号線道路改良事業	横芝光町	中心部から成田方面へのアクセス向上。	横芝光町中心部から成田方面へのアクセス向上を図り、企業誘致や地域振興の促進を図るため、町中心部と成田空港を結ぶ「空港直結道路」として整備を進める。
-----	--------------------	------	--------------------	---

○空港敷地拡大に伴う付け替え道路の整備

通番	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
262	国道296号整備事業(大里拡幅) 【再掲】	千葉県・空港会社	圏央道から成田空港へのアクセス強化。	国道296号(芝山町大里～多古町喜多)の4車線化整備。
263	県道成田松尾線整備事業及び(仮)滑走路横断道路(芝山町菱田外) 【再掲】	千葉県・空港会社	成田空港周辺の道路ネットワークの強化。	県道成田松尾線バイパスの整備。
264	高谷川付近芝山町補償道路	芝山町・空港会社	空港拡張により失われる芝山町道の補償として、地域間交通を確保する道路を整備することを目的とする。	高谷川付近に地域間交通を確保する道路を整備する。
265	圏央道東側多古町補償道路	多古町・空港会社	空港拡張により失われる多古町道の補償として、地域間交通を確保する道路を整備することを目的とする。	圏央道東側に地域間交通を確保する道路を整備する。
266	C滑走路外周道路	空港会社	C滑走路の外周のフェンス管理用の道路を整備するとともに、地域間交通にも供することができるよう、一般車両も通行可能な道路を整備することを目的とする。	C滑走路の外周に空港管理用及び一般車通行用の道路を整備する。
267	B滑走路北側・西側成田市補償道路	成田市・空港会社	空港拡張により失われる成田市道の補償として、地域間交通を確保する道路を整備することを目的とする。	B滑走路の北側付近に地域間交通を確保する道路を整備する。

## (2) 空港周辺の河川整備

### ○河川への流出抑制対策の実施

	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
268	空港拡張に合わせて調整池等の整備を実施	空港会社	調整池等の整備により河川への適切な流出対策を施すことにより、下流域の安全を確保することを目的とする。	空港拡張区域からの排水先となる取香川、荒海川、高谷川への流出抑制のため空港内に調整池等の整備を行う。

### ○栗山川等の河川改修の推進

	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
269	栗山川改修事業	千葉県	二級河川栗山川水系栗山川の治水安全度向上を図る。	栗山川の河道拡幅に必要な築堤・掘削・護岸および付帯工などの河川改修工事を行う。

### ○空港周辺河川の維持管理の推進

	事業名	事業主体	事業目的	事業内容
270	河川維持事業	千葉県	河川の治水機能を最大限発揮することを目的とする。	河道内の竹木伐採や堆積土砂の撤去など、適切に維持管理を実施する。